京城日報

十日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 卷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

◎瀘州確實に占領さる

四川省瀘州は六日革命軍の爲め確實に占領せられたりと(東京特電)

◎聯合軍背後の世界的資源 露國陸相の談

露都來電に據れば露國陸相ポリワノフ氏は新聞記者との會見に於て語って曰く昨年中彈藥の極めて不充分なりしは事實なり然れども今の處危機は既に經過し去れり偉大にして不屈不撓なる露國の努力は露國の國家的工業の活動に革命を起し、彈藥製造の發展は眞に驚く可きものあり又我國は永久に百五十萬の新兵を支持することを得且つ戰場に送らるゝものは何れも完全なる訓練を經たるものなり、獨逸は盛んに機械を發明するやも知れず然れども同國軍需品供給力の低下は避け難き所にして聯合軍は之に反して斷えず增加しつゝあり聯合國の背後には世界的資源あり獨逸の背後は疲弊と不確實となりと(倫敦電報)

◎李王總督訪問

十一日は紀元の佳節なるを以て李王殿下は祝賀言上方御依賴の爲同日午前十時十五分昌德宮御出門總督邸に寺内總督を御訪問ある可し

◎露太公御消息 寺内總督へ御答電

グオルギー、ミハイロウキッチ太公殿下には八日浦鹽斯德より哈爾賓に引き返へさせ給ひ同夜御發足途中イルクツクに御立寄あり御歸還は十九日頃の御豫定なる趣なるが殿下には始終御元氣に渡らせられ且つ絶えず本邦に於ける御旅行の極めて愉快なりし旨御物語あらせらるゝ由中島少將より其筋に報告ありしと、因に露國太公殿下哈爾賓御著の日寺内總督は御安著の御喜を兼ね再び愉快なる長途の御旅行の後恙あらせられず御歸遑を祈る旨の意味を殿下へ電報せるに對し殿下には早速總督に向け左の御答電を致させられたりと

貴電接受、御厚意を謝す、閣下及び親愛なる貴國は余の念頭を去ることなし、日本國に於ける愉快なる滯在は余の最好の記念として忘却する能はざる所なり、茲に閣下に對し深厚なる敬意を表す

◎聖上還幸

十一日の紀元節は紀元二千五百七十六年に相當し且つ今上陛下御即位後第一次の紀元節に就き葉山御用邸に御避寒中の天皇陛下には十日午前十一時十分東京驛御著發還幸遊ばされたり(東京特電)

◎御慰問使入京

御慰問使若見少將は十一日午前八時四十二分龍山著急行列車にて入京大觀亭に入る筈なり

▲慰問使出迎 朝鮮駐劄軍慰問使として 聖旨傳達の爲め差遣せられたる陸軍少將若見虎治氏は十一日南大門驛著入京に付き憲兵隊司令部副官齋藤中尉は出迎の爲め十日午前八時三十分南大門驛發列車にて釜山に向へり

◎御慰問使車中談

朝鮮駐屯軍御慰問使として派遣を仰付られし若見侍從武官九日夜八時三十分大阪通過せるが武官は車中にて語って曰く、朝鮮は往復四十日の豫定にて全道の各軍隊駐屯地を廻り 聖旨を傳ふる筈なり陛下には深く僻遠の地にて軍務に服せる將卒に軫念あらせられる兩陛下とも昨今至つて御健康に亙らせらるゝを拜せり 皇后陛下には七日拜謁せしが朝鮮駐屯軍に對する有り難き合旨を拜受せり(大阪特電)

◎仁川新春商況

仁川市場に於て舊臘米奔騰の勢を以て米價は春高見越の一般豫想に反し年市内地相場が地廻米の壓迫及び期米年市の氣脈等により日毎に安報を齎したれば當地も初市場以來軟弱の趨に保合ひ稍に祝儀的商内の行はれたるに過ぎず中旬に入りても下押一方にて依然不味に陷り相場の不引合は農家の賣惜みさなり廻著多少の滯を來せしも納稅期と舊節季の決濟時期に在りたるを以て地方金融は逼迫し手仕舞投物相應市場に現はれたるも内地が在荷停滯の折柄とて一府の先安見越にて頓と新規注文入込まず輸移出方面は頗る不振の狀況を呈し當地月末在庫高は玄白米十萬餘叺を算せり正米相場は神力玄米にて月初め十一圓五十錢見當を唱へしも月央五十錢下押し月末に迨ひても定期の軟弱なる氣配に煽られ遂に十一圓六十錢の安値を呼ぶに至れり、大豆は品薄の折柄手堅き成行を呈せしも内地安に伴れて月末には龍山物四十錢方の低落を來せり牛皮も上手物の必要にて取引相當ある模樣なるも内地荷間の聲喧しく商品依然として不振の域を脫せず一方輸入側に於ける絲、金巾類は月央點地貨行良好なりしも舊正月に切迫しては小休みの姿を呈し麥粉、砂糖類は運賃高原料高の爲め其他淸酒類は上物拂底に依り中旬より五六十錢方の値上を斷行し殊に石油は一躍奔騰一圓二三十錢方の高値に運びしも買行は普通にして兎角米況不振の折柄市況一般に沈靜にて取引頻繁ならず頗る閑散に越月せり

◎仁川最近水產界

仁川に於ける一月中の漁業概況は仁川近海に於ては頗る閑散の時期なるが故に何等見るべきものなし而して鮟鱇網に從事し鰡漁を專業とせる漁船も當月の如き近年稀有の暖氣の爲め漁獲皆無にして僅に鯵鰆類の如き少許の漁獲ありし而已にて又委託品に於ては從來釜山を根據とせるが該港本年は稀なる不漁にて昨年同月に比し殆んど半數を減せしも幸ひ本年は日本内地に於て鰮漁豐富なりし爲日本より委托品多數なりし爲め昨年同月に比し五百餘圓の增加を示せり而して本月中の漁船回航度數及び水揚高は日本型漁船六十隻(四百圓)朝鮮型漁船八十隻(三百五十圓)にして釜山其他よりの委託品は七千二百二圓なり尚消費先は例月と大差なし今仁川水產會社調査に據る一月中の水揚高類別左の如し

魚類別	數量(一、〇〇〇貫)	單價	金額
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏賊	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

但單價は十貫目單位とす

◎又廳舍問題起る 京城府學校組合 京城商業會議所

京城府にては來る四月一日の年度替より從來總督府の所管に屬したる府内道路の修築其他一切の事務を引繼ぐことゝなり同時に府廳内に土木係の一室を新設するに至る可きものなるが現在の廳舍は既に百八十餘名と云ふ多數の人員を收容して狹隘を告げ居れる次第にて到底これ以上收容の餘地はなく而かも土木係は少なくとも十名以上の定員を以て組織され其事務は製圖、設計等のため普通の事務室以上の廣さを必要とすれば勢ひ府廳舍以外に於て事務室を設けざるべからざるものなり

▲組合廳舍移轉 然れども如何せん適當の場所なく強て求めんとすれば空屋となり居れる元の漢城病院あれども本府と事務の連絡上支障渉からざれば若し萬已を得ずんば學校組合を元の組合事務所に移轉し其跡に土木係と一部府民と直接の關係ある民籍又は徵稅係の事務を移轉せしめんかとも考ふる者あれど元來學校組合を府廳内に同居せしめたるは府尹が其管理者たるのみの所以に非ずして何れの府所在地と雖も執務の便宜上同居するに至りたるものなれば今日と雖も府廳より分離せしむるは策の得たるものにあらずと云ふものもあり

▲家主と店子 假りに元の民團廳舍に移るとするも同所の階下には京城商業會議所ありて使用し得ず階上は府參事會又は學校組合會等の議場に充てられ居りて使用に耐えず此所暫時戶惑の態なり併しながら一部學校組合議員の内には元の民團廳舍なるものは日本人商業會議所に貸與することを承諾したれども新に設置されたる京城商業會議所には貸與す可き協議を受けたること無ければ學校組合會開會されなば當局の辯明を求むると共に立退方を要求せしめたしとの希望を抱き居る者あれば又候商業會議所と學校組合議員との間に所謂家主と借家人との間に一問題起るらしき形勢闇々の裡にあり

◎鐵道局ホテル成績

鐵道局經營に屬する朝鮮ホテル外釜山、新義州、金剛山ホテルは前期決算に於て約二萬圓以上の缺損を生せしが昨年中は共進會開催の餘響として各ホテル共に相當なる成績を擧げ總收入十萬四千八百九十二圓廿九錢に達し損益延入は一千四百八十七圓の盛況を示せしが此間成績の最も良好なりしは朝鮮ホテルにして金剛山の如きは昨年末開業せるものなれば缺損を免れ得ざるものありと

◎京城府の拜賀式

京城府にては十一日午前九時半より十一時迄廳内に於て紀元節拜賀式を行ひ一般府民の拜賀を受くることゝなりたれば參列者はフロックコート及び之に相當する禮裝にて參賀差支なしと

◎農業技術員講習會

京畿道にては來る二十六日より一週間道廳内宣化室に於て各府郡農業技術員の講習會を開催し講師には勸業模範場の技師技手出席すべしと

◎普通學校長會議

京畿道にては來る三月一日より三日間管下の各公立普通學校の校長を召集し諮問及事務打合に關する會議を開く筈

◎愛婦會弔電

愛國婦人會朝鮮本部長山縣政務總監夫人は故父加藤弘之男の薨去に對し役員一同は同夫人に宛て十日哀悼の意を表する旨弔電を發したり

公州

▲金融組合理事會議 八日より忠淸南道廳會議室に於て管内地方金融組合理事會議を開催せらる會期は三日間なり

▲學校組合評議員改選 公州學校組合にては此度評議員滿期に付七日午後一時より錦江館に選擧投票會を開き其結果左の通り當選せり(九十七點)加賀美守(九十六點)柳原八十吉(九十八點)[illegible](九十三點)丸山虎之助(八十九點)中村宮吉(五十八點)石澤嘉市

鳥致院

▲學校組合豫算案 八日午後零時發自動車にて新田組合管記は學校組合大正五年度歲入出豫算案を携へ道廳に出張せり

▲鳥致院市場設定 從來新舊兩市に散在せる市場は風紀取締上甚だ面白からざりしが此度協議會に於て鳥致院中橋南スタンダード石油倉庫と居歟場との畑地に新市場を設くる事に決定せり

▲學校組合評議員選擧 來る三月三十日を以て任期滿つる筈に付翌三月二十一日全部八名の評議員の改選を行ふ可く組合員名簿は二月廿日より廿六日迄縱覽せしむ可し

群山

▲銀行券受拂高 銀行券發行高六十五萬六千八百三十八圓同券回收高七十五萬八千九百七十二圓内一圓券發行高十四萬五千二百六十三圓同券回收高十九萬八千八百參二圓補助貨拂出高二萬六千八百九十二圓六十五錢同貨受入高二萬八千五百七十三圓六十四錢日本銀行券拂出高三千四百七十八圓同券受入高八千百六十圓等也

▲爲替取組高 仕向高朝鮮内六百五十三口六十七萬八千六百零七圓九十九錢朝鮮内地間二百八十二口四十萬二千零八十六圓三十六錢朝鮮支那其他間六口二千八百圓四十錢被仕向高朝鮮内三百九十五口五十五萬九千五百七十八圓三十五錢朝鮮内地間三百二十七口六萬五千八百三十二圓九十八錢等なり(鮮銀出張所客月扱)

大邱

▲紀元節拜賀式 十一日紀元節の佳辰には慶北道廳に於て拜賀式を擧行す

▲邱果樹組合 大邱果樹組合にては今回總督府より發布せられたる同業組合令に依り定款を變更すべく目下調査中なり

▲甘浦築港設計 客月三十日慶北道廳技手谷幸太郎氏は慶州郡甘浦に出張し郡書記光田氏と共に甘浦築港設計の爲め三十日之れが測量をなしたるが甘浦東南の山麓より六十間北に向つて防波堤を築くことに內定し其の經費約一萬圓を要し防波堤中には優に船舶七八百艘を繋留することを得べく近々工事に著手する豫定なりと

▲三郡產業講話會 慶北漆谷九日、星州十日、金泉十二日の日取にて產業講話會を開く可く道廳よりは參與官松井本谷の諸氏九日を以て出張せり

▲第一部長歸廳 既報の如く二月一日より開催せられたる第一部長會議に列席の爲め出京中なりし慶北道第一部長は二月九日歸廳せり

▲慶山郡守休職 慶山郡守崔麟溶氏は文官分限令に依り休職を命ぜらる

▲記念金時計寄贈 既報の如く慶北道地方係伊藤藤蔵氏は去る五日附を以て內務部勤務を命ぜられたるが道廳有志よりは氏の榮轉を祝し記念として金時計一個を贈る由

▲學校組合に寄贈 倭舘有志特永淺治氏は倭舘學校組合基本財產中に金十圓を寄贈せり

▲壽昌學校の貯金 [illegible]四十五錢 生徒五名百十一圓七十五錢 規約に據り五名三十錢宛貯金生徒九名六十二圓三十一錢 合計百十九名二百六圓五十二錢

▲玄風市場近況 達城郡玄風邑內市場は目下舊正月の爲め靜止の狀態なれど昨年末は米價相當の騰貴を保ちしを以て納稅二期分納とは農民生活に著しく餘裕を生ぜしめたり近來物價騰貴の傾向あるは歐洲戰爭の波動が當地方にまで及びしものならん目下市場穀價籾五圓玄米九圓大麥四圓二十錢小麥六圓二十錢大豆五圓にして一月中市場出廻り白米百五十石此價一千六百八十圓豆類七石三十九圓野菜五千貫二百五十圓麥類百三十七十二圓魚類一千七百貫三百八十圓布類二百疋三百圓なり而して一般金利內地人四步鮮人一間五分にて融通しつゝあり

▲玄風國語講習會 達城郡玄風普通學校にては宋校長主唱となり生徒以外の人に國語習得希望者を集め是を三組に分ち每夜同校內に於て國語講習會を開きつゝあるが目下講習生百二十名に達し成績頗る良好なりと

人事消息

▲[illegible]中佐(軍司令部高級副官) 若見侍從武官出迎の爲め十日朝釜山へ
▲芳島三郎氏(鮮銀取締役部長) [illegible]
▲永井松次郎氏(在仁川土木局技師) 本府、群山兩工營所の工事視察として十二日木浦に[illegible]
▲櫻葉孝平氏(在釜山土木局技師) 土木事務打合せの爲め二十日出京
▲野口耕一氏(在元山土木局技師) 同上
▲永井柳次郎氏(在仁川土木局技師) 同上
▲掛札季誠氏(在平壤土木局長) 同上
▲八島明氏(在淸津土木局技師) 同上
▲三浦彌五郎氏(米國大使館一等書記官) 十日入京

◎大阪より

▲工業藥暴騰 戰亂後暴騰せる工業藥品は戰前に比すれば概して三四倍乃至五六倍騰貴せるが其中コツム酸曹達は十倍の百五十圓臘へ加里は十倍餘の二百圓コロムサン加里二百十圓と實に十四倍に達したるものを最とせり

各百封度	現時相場	平時相場
青酸曹達	三、五〇〇	五〇〇
同加里	一二、五〇〇	二、五〇〇
硅酸曹達	一八、五〇〇	四、〇〇〇
コツム酸銅	一五〇、〇〇〇	一四、〇〇〇
青加里	一八五、〇〇〇	三三、〇〇〇
洋藍	五〇、〇〇〇	一八、〇〇〇
リスリン	一三〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
炭酸石炭	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇
氷醋酸	一五五、〇〇〇	二五、〇〇〇
コハバルゴム	一〇〇、〇〇〇	一九、〇〇〇
コロムサン加里	二一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
タンマルユム	二八、〇〇〇	二五、〇〇〇
椰子油各百斤	二七、〇〇〇	二五、〇〇〇
アストル油	一九、〇〇〇	一六、五〇〇
留砂	五五、〇〇〇	一二、〇〇〇
洋チヤン	一七、五〇〇	六、〇〇〇
シケラツタ	六〇、〇〇〇	四八、〇〇〇
牛脂	二五、〇〇〇	一九、五〇〇
炭酸曹達各一樽	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇
醋酸加里	二〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇

▲最近賣船契約 最近成立せる賣船の契約左の如し

船名	重量噸	價格	買主
美代丸	二、四九六	四八〇、〇〇〇	大洋汽船
金剛丸	一、二九四	一三五、〇〇〇	林汽船
竹丸	一、二六六	一〇〇、〇〇〇	菜氏
日英丸	二、三〇一	二七〇、〇〇〇	濱田
平須丸	一、六九一	三三〇、〇〇〇	菜氏
御代丸	一、四八四	四〇〇、〇〇〇	村井
久美丸	四、三一一	八〇〇、〇〇〇	芳川
久満嘉多丸	一、三三六	一三五、〇〇〇	對奥谷
市江津丸	七三六	―	橋本
御嶽丸	九五八	―	日下部

▲パルプ到著 北歐製のパルプを積載し神戶港に廻著すべき豫定の船繰は二月初旬瑞典船ジャパン號と二月中旬瑞典船スマトラ號の二隻なるが其積載パルプは合計一萬三千噸の見込にて何れも既約品なるが各汽船は昨今相前後して瑞典の積出港たるグーテンボルグを解纜したるも兩船共露國海軍の檢査を受け一時停船の止むなきに至り其回著は三月下旬まで延引すべしと

▲內外織物好調 夏織物に對する大阪問屋筋の意嚮は大部分は強氣の見込みにて各產地に向け買附も案外に活潑ならんとは屢々報ぜし如くなるが其後內地各織物は益々活潑なる商狀を呈し春向綿布、足利物等に對しては問屋筋の引込み早く一月中旬より續々現品移入となり今日に於ては久留米絣を始め染絣、木綿縞、セル地、綿物、帶地等夥々入荷あり尚今後續々現品の移入を見るに至るべし而して各品共原料絲及び染料の大暴騰を演じてより近り商の成行を示し殊に濃厚色の物程賣行良好なれば相場は益々鰻上りに奔騰すべく且つ各地共生產難を氣構へて頗る強硬なれば本月下旬より三月に掛けて頗る活況を呈すべき氣勢なるが如し米國向の羽二重は引續き旺盛にして福井、川俣の羽二重兩無地の縮緬類は依然好調を呈せり一時倫敦及び佛國向の取引沈靜せるが去月下旬に至り新規商談成立し二月乃至三月渡先約可成に出來せるが之れ橫濱定期市場の天井知らずの奔騰と露佛諸國の在荷悉く消化されたるとに因る者にして之が爲久しく十圓臺を見ること能はざりし羽二重は昂騰に昂騰を重ね遂に十圓に頭を擡ぐるに至れり又印度濠洲向タフタ紋甲斐絹等も引續き好調を唱へ桐生地布の輸出業家は殆んど註文に應じ切れざる程なりと

▲莫大小聯合失敗 孟買甲陀方面の輸出貿易の隆盛に伴ひ同航路の船腹不足し內地荷主は非常に苦痛を感じ之が調節策として莫大小商の如きは阪神兩地の同業者聯合會を設け以て船腹の調節を計りつゝありしが最近に於ては出帆毎に各荷主共奪ひ合ひの騷ぎにて阪神兩地方の聯合會も遂に圓滿なる船腹の按分を得ざることゝなりたる由(大阪支局發)

□都筑男より寄せられし句(男は目下興津に避寒中なり)

井上侯別邸の梅

梅か香に植ゑし主の偲はるゝ

○

高麗に居て滿見か梅の思ひ哉　大塊

記者 日新國政
右地方視察の爲め新義州安東縣平壤方面へ特派す此段同方面の愛讀者各位に謹告仕候

記者 杉本鶴一
右北鮮の狀況視察の爲め本月下旬淸津方面へ特派す此段同方面の愛讀者各位に謹告仕候

京城日報社

商業登記公告
株式會社三越吳服店ハ大正五年貳月參日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金參拾七圓五拾錢ト變更シタリ
商號新設 商號 羽多野商店、營業種類 氷貯藏販賣 營業所 京城府明治町貳丁目六拾貳番地、商號使用者ノ氏名住所 同所 羽多野松太郎
右大正五年貳月八日登記
帝國生命保險株式會社監査役森下岩楠、前田正名ハ任期滿了ノ處大正五年壹月參拾壹日各重任シタリ
右大正五年貳月九日登記
京城地方法院

生徒募集
◎無試驗入學 ◎二學年以上各級に補缺生入學を許す ◎當校卒業生は小學正教員の資格あり ◎教員は悉く女子也校内寄宿舍あり ◎裁縫教授時間多し點茶挿花も教授
一 學則入用者は郵券四錢送附の事
一 學年は五十名を限る
京都 淑女高等女學校

改名御披露
今般都合により左記の通り改名仕候間御通知旁得貴意候
京城本町二丁目百六番地
舊名 森安吉事
改名 森啓助

生徒募集
本校本科技藝科併設普通學校各學年及兩校各學年補缺生徒ヲ募集ス
入學願書三月二十五日迄。入學試驗四月一日。規則書及詳細ハ本校ニ照會アレ
京城府壽松洞
財團法人 淑明女子高等普通學校

第貳拾壹期營業報告
貸借對照表
負債之部
資本金 參〇〇、〇〇〇・〇〇
政府貸下金 [illegible]
諸預金 [illegible]
他店ヨリ借入金 [illegible]
支拂送金手形 [illegible]
諸借入金 [illegible]
本支店間勘定 [illegible]
積立金 [illegible]
未拂配當金 [illegible]
當半期利益金 七參、七貳九・五壹
合計 五、四五八、四參六・〇四
資產之部
未收入資本金 [illegible]
諸貸付金 [illegible]
他店へ貸金 [illegible]
所有物勘定 地所、建物、什器其他不動產 [illegible]
有價證券 [illegible]
預金及金銀 [illegible]
合計 五、四五八、四參六・〇四
利益金勘定
前半期繰越金 六參、貳貳壹・五九
當半期純益金 壹〇、五〇七・九貳
合計 七參、七貳九・五壹
內
積立金 七、〇〇〇・〇〇
役員賞與金、交際費、役員恩給基金 參、五〇〇・〇〇
株主配當金(年七分) 五貳、五〇〇・〇〇
後半期繰越金 壹〇、七貳九・五壹
大正五年一月
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長取締役 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
取締役 趙鎭泰
監査役 子爵 趙重應
監査役 鄭永斗
前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也
監査役鄭永斗ハ任期滿了ニ付株主總會ニ於テ改選ノ處株主金用集當選就任ス

松風清し葉山の濱

皇后陛下澄宮殿下御避寒

皇后陛下には八日午前九時三十分御出門澄宮殿下御陪乘の上青山御所御出門澄宮崇仁親王殿下には木澤出仕御抱擁、田内御養育係長並に乳人、看護婦等供奉の上九時二十分青山御所御出門數百名の奉送を受けさせられ十時東京驛御發車十一時三十分逗子御著陛下には直に葉山御用邸に澄宮殿下には元岩倉公爵別邸に入らせられたり

今回殿下の御居間に充てらるゝ御座敷は今より十餘年前東伏見宮依仁親王殿下が御成婚當時も御由緒深き御室にて十疊二間八疊三間六疊一間より成り別段の裝飾等も無く御庭園も僅かに松林あるのみにて畏き許り御質素のものなりと拜聞す（横須賀電話）

御前に奏す久米の舞

記念し參らする建國の吉祥事

十一日は神武天皇大和國畝傍の橿原宮に御即位の禮を行はせられし日より本年實に二千五百七十六年に相當するより 天皇陛下には十日午後葉山より還幸紀元節當日皇靈殿に御親祭あり群臣に饗宴を賜ひ皇祚無疆を奉祝する實に大禮即位式後第一次の式典に屬す然れば御制規の通り正午十二時 陛下には陸軍樣式御正裝を召され豐明殿に出御内外の群臣に宴を賜ひ優渥なる勅語をも下し給ひ大隈總理大臣群臣を代表して奉答の辭を奉り先任者として露國大使マレーヴッチ氏外國使臣を代表し之亦奉答の辭を奉ることの間前庭に於ては式部職樂師樂手は久米舞の古樂を奏すと申す其久米舞こは實に神武天皇御東征の途次大和の宇陀に兄宇迦斯弟宇迦斯の賊を討ちし大久米命が更に忍坂の大室に於て土雲、八十建を討ち作戰計畫は皆膳夫に擬して小刀を佩き歌を合圖に之を誅し、後登美毘古長髓彦こいへる賊魁を討つ時皇軍の歌へる軍歌にして歌詞は

みつみつし　久米の子等が　粟生には　韮七莖　其根が莖　其根芽繋ぎて討ちてし止まむ

又曰く

みつみつし　久米の子等が　垣もとに　植ゑし薑　口疼く　吾は忘れじ　撃ちてし止まむ

又曰く

神風の　伊勢の海の　大石に　這ひ廻ろふ　細螺の　い這ひ廻り　撃ちてし止まむ

と斯くて皇軍大捷、天下茲に平定し天皇は橿原宮に御即位の大典を擧げさせられたるにて建國の吉祥事を記念すべき歌詞なりと（東京支局）

工廠破壞の大計畫

桑港の獨逸領事等有罪決審

桑港駐在獨逸領事等は中立違反の行動を爲せりとて聯邦陪審裁判官の手にて審査中八日獨總領事ゴツプ氏副領事シヤク氏土耳古總領事ハルレ氏及び館員カフマン氏等有罪と決定せられたり獨總領事の罪狀は加奈陀軍器製造所を破壞すべく軍事的行動あるによる（紐育來電）

ドシく新製品

試驗所から産れる＝豐永博士の談

歐洲戰爭の爲めに急に我國の化學工業熱が勃興したは至極結構な事だが朝鮮と云ふ地位から行けば戰爭が有る無しに拘らず此道が尚少し進まなければならなかつた

■中央試驗所での色々の試驗成績は今更際立つて言ふ程の事も無いが中には既にものに爲つて市中に販賣しつゝあるのもあり乃至は誰か希望者があれば其儘移管してもいゝと思つてゐるものもある實り出したものと云ふのは石鹸で英のピアス石鹸を目標に造つて見たのだが流石學理許りでは到達し得ない處もあるが殆んど近く迄進み得たピアス石鹸は市中小賣四十錢だが今度のは廿錢で賣らせる積りで既に『巴石鹸』と命名し包紙や意匠は總て商木堂に委任してあるから近日中から大々的に賣出す事になつてゐる試驗の上批評が願ひ度いと思ふ既に完成した室内塗料には上下二種があり安値い方のは坪三錢位、上等の方で坪二十五錢位だが其

■上等のになれば雨漏の爲めに變色したり剝落したりする杞憂の無い許りかホースで盛んに注水して試驗して良成績を得てゐる之は各官衙で頻りに試用を乞うてゐる魚油、鯨油其他植物質の油も色々造つて見たが荏子油が一番好成績で殊に戰爭の爲めに暴騰したアマニ油代用として最よく之を乾燥油とするに於てはボイル油として優に世界的のものとなつてゐる磁土は黄海道慶尙南道に優良なのがある若し夫れ硅砂に至つては全南の大黑山と黄海道巡威島などから頗る上乘のものが出て本試驗場でも試驗製造もしたが現に盛んに三菱の硝子工場に移出されつゝある

■柞蠶の進歩には著しいものがある大連にある滿鐵の試驗場でもやつてゐるが其とは別樣の試驗場で本工場の發見した糸の紡り方が好成績で節を無くし酒を完全にし、在來の物とは比較にならない上品な物が出來てる羽二重織、縮緬織乃至夏の服地で皺のよらない樣な方法發見など仲々上乘のものが出來るのでもう民間事業に移してもいゝと思つて居る一に備へる爲に紡女の養成迄してゐる資本の多寡に據つて企業の大小にも影響するが先づ機械十臺位を置いてやると頗るいゝだらうと思はれる木綿の漂白したシルケットを硬化して織出した新羅織は麻と何等の遜色無く

■一見越後縮に似て然も三十尺反一圓廿錢位で小賣さるゝ之れなど咸鏡北道の北方から木浦の南迄朝鮮人に使用されるに選びないと思ふから今後大に見るべき物だと思ふ漂白した莞草織、タヒラギの毛織は共にチョッキ地として新に發見したもので向後期待すべきものだと思ふ楮、桑からの紙類も面白いが頃日出來上つてゐる楮皮、桑皮の典具紙は藥の包紙、金銀の鍍金物など包む時に用ふるが是など戰爭前迄は歐洲で非常な需要があり更に戰爭の爲めに騰貴してゐるから好機に會してる譯だ漆も甚だ好成績で先年奈良漆組合から内地一等の漆よりも質がいゝと云つて

■感謝狀が來た位だから有望ではある今後四五百萬圓位の移出額とする爲めに講究する必要がある現に試驗中のものにはアルコホル、染料原料等があるニホヒバ、ライラック、南山菫等から香料を造る研究もしてゐる──今後朝鮮で勃興せざるべからざる事業乃至必ず大を爲すべき素質を有する事業としては硝子、紙、織物、葡萄酒等である硝子の原料たる硅砂は捨てゝ顧みられなかつたものだ、紙は現に楮桑、蘆草でやりつゝあるが向後ポプラを原料として使用する處迄行かなければ嘘だ織物は朝鮮として諸種の改善發達あるべく葡萄酒研究は更に爲されてゐないが朝鮮に於ける

■從來の葡萄栽培は總て食用としてのみであつたが今の處まださう迄なくても今に供給過多となるだらう其時になれば自然醸造用の栽培が初められる譯だが氣候風土等は正に良成績を豫想されるもので本試驗所で試驗し製出したものは今迄機を見て世間に賣出し之を廣告にもし紹介にも資してゐたが今度數千圓の資金を得たから市中適當の處に陳列販賣部を設置する豫定である

博物館陳列品の蒐集

ス博士の饅頭笠―雨にはいゝが風には困る

◇お札博士のスタール博士は六日の夕方金剛山から歸つて來た、宿の大華館主人は舊正月の雜沓に迷惑かけるも氣の毒とて博士を光化門裏の惠泉館に案内した

◇十日の朝博士を訪問すると『久しく君を見なかつたので或は君が結婚したのでは無いかと思つた』と冗談を云ひながら頻りに荷造に忙し相

◇と見れば朝鮮の木靴がある草鞋がある帽物がある毛帽子がある狹き惠泉館の溫突はあらゆる朝鮮の器具類を以て山を爲して居る

◇博士は『これも帽子だ、これも帽子だ』と言ひながら經四五尺に餘る極めて大型の朝鮮笠を示した、そして其の中の油紙と竹の骨で作つた巨大なる饅頭笠を被りながら『雨には便利だが風には困る』と笑つた

◇猶ほまた全部毛で作られた大きくつて重たい帽子をも持ち出して『君は曾て慈悲帽子を見た事があるか。これは極めて古き〳〵帽子である。

◇博士はこれ等のものを米國に持ち歸つて博士自身の一大博物館を作る抱負である。兎に角米國に於ける東洋の研究なら拙者の處へござれといふのが博士の意氣込みであるらしい

◇博士は十二日午前八時卅分南大門驛發の南行列車で東京に向ふ筈、二月十六日には慶應義塾大學で日本及び朝鮮のお札に關する講演を試み再び雪の盛岡地方をも見物した上市俄古に還る豫定である

◇市俄古大學では博士の學生が博士の歸りを待つて居るから歸つて第二學期の講演を了へたら又復朝鮮にやつて來るといふ

◇金剛山では總て君の立案して呉れた旅程通りを踏破した事を悦ぶ、其の七十五哩の大圓内にある山容の美觀と雄大は蓋し朝鮮稀有のものであらうがこれに世界第一の讃辭を冠する事は如何のものであらうか──尤も日本の山懐には分け入らなかつたけれども

◇『金剛山の寺は總て自分にとつては面白かつた彼の榆岾寺の[illegible]嚴[illegible]を[illegible]外人は[illegible]見下一人あるのみといつて大に[illegible]して呉れたのは愉快であつた』と

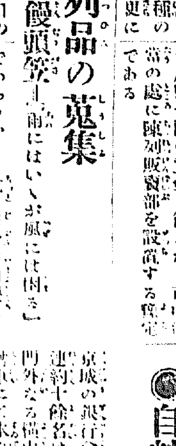
奉天の大飛行準備著手

格納庫の建設

[illegible]

濤よ嵐よ（四）

永興防備隊の生活



日朝上等工長以下職工九名來奉せしを以て愈々守備隊裏の練兵場に格納庫建設に着手し[illegible]

海上生活一年半

冬は猟狩り

春樂しき紀念日

[illegible]

虎島砲臺が一抹薄き朝霧に

[illegible]のべるがカン〳〵カン〳〵と鳴り渡る。と同時に兵舍の吊床に寢た水兵の面々はがばとはね起きて洗面に行く。その[illegible]の小道具容れたる木製手箱の[illegible]からは商標子が出る、また制服中著など[illegible]

吊床も整然こ

疊まれて了ふ

併し此處には佐世保軍港のやうに朝別課が無い、代りに夕別課は夕食三十分後に普通學を教はる。その他水兵の日常生活は、陸に居ても總て軍艦の上と同一である。海上に於ける彼等は水雷敷設の練習もやれば掃海教練もやる。又日課表の規定により銃劍術、擊劍等も猛烈にやるが殊に相撲は水兵の大得意で、毎年春の紀念日には元山守備隊の

陸兵と取組む

でいつも凱旋

するのが御自慢の一つである。水兵の娯樂は無論構内の酒保であらう、酒保には酒も、饂飩も、お汁粉も餅もある。併し松田灣の天地はあまりに多く自然を樂しむ機會が備はつて居る。試みに主な遊びをあげて見ると、春は滿山の花の影やら蕨狩り、夏はお手のもの、

海水浴から棧橋の魚釣り秋

は紅葉に水禽獵ち、冬はまた牡蠣採り狸狩りなど大凡山野の樂しみは悉く得られざるはない（まこと生）

海陸兵士の歡會──永興湾防備隊春の紀念日

海軍水兵の生活は陸軍に比

して[illegible]ずつと長い。此處に來るのは多く佐世保軍港の古參兵ばかり、來てから二年目毎に交替する。水兵を陸に上げた此處の生活は云はゞ河童の水離れに等しいかも知れぬが併し水兵は却々に強く、中には裏の草山に雉子を見付てたう〳〵四五里の間追ひ廻して獲とつたといふ健脚家も居る。每日河のやうな入海を隔てた

鐵嶺へ

自動車班は

此程より奉天にて試驗中なりし自動車班は結果良好なりしを以て八日午前八時驛前より班員は自動車九臺に分乘して出發鐵嶺に向へり（奉天電報）

日頃より行ふ筈にて岡大尉及び坂本川上の兩中尉は九日朝來著の筈なり（奉天電報）

自轉車遠乘會

十餘輪水原へ

京城の銀行會社及び民間有志の紳士連約十餘名は十一日の午前九時南大門外なる龍山自轉車店前に集合し自轉車にて水原に遠乘を爲し水原にて名所の[illegible]見物の遊覽を受け歸途は汽車にて歸京の筈なりと

雜誌二割値上

▲東京諸雜誌組合は七日午後一時より西神田倶樂部樓上にて[illegible]洋紙騰貴の爲とあつて雜誌販賣店[illegible]時事[illegible]『少年』『少女』及び『少女畫報』[illegible]『庭』其他の諸雜誌も亦互ひに自社他の二割の値上げは猶ほ懸案として其事情より値上げの必要を見ずと雖ども近日中に何れかに決定する[illegible]

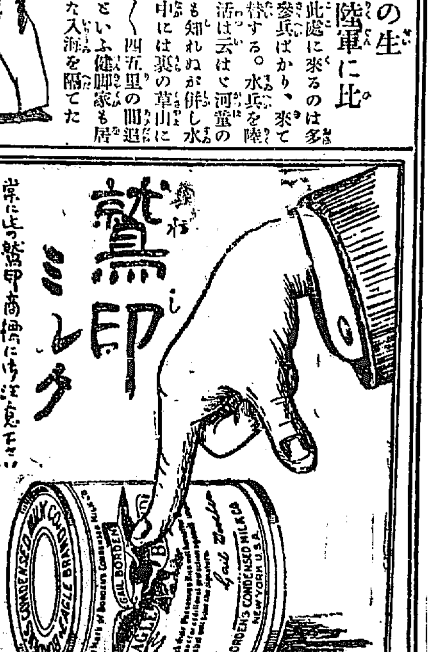
鴨緑江の解氷

[illegible]と云ふ割合なるべしと云へり（安東）

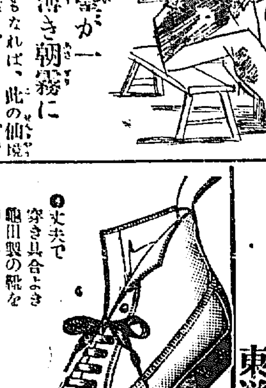
加はらず氷山時漲水を溢ふる事さへ珍らしからず此外にては其解氷期も又早かるべく察せらるゝが一般には[illegible]

天氣は 晴れ
二月十一日[illegible]

鷲印ミルク
常に此の鷲印商標に御注意下さい



桑苗 魯桑接木其他各種 確實勉強販賣
豫約御注文至急願上候
京釜線大田驛 長電話百〇七番電略（ト）
東洋蠶業株式會社出張所



●丈夫で穿き具合よき龜田製の靴を御召し下さい
●御注文は足袋文數又は紙に足の周圍を畫き送る事
●營業品目錄す法用紙御報次第送呈
一金四圓五拾錢 編上靴
一金五圓 深ゴム靴
一金五圓八拾錢 變形靴
一金七圓五拾錢 同
●一枚革深ゴム靴は金五拾錢値增
東京市芝區愛宕下町
龜田靴店
電話芝三二〇二 振替東京四二七八

小生儀過般來上京研學中の處今般歸院す
京城壽町日出小學校前
内科 小兒科 多々見醫院
電話九四〇番
院主 醫學得業士 多々見五郎
自今新に皮膚病花柳病科診療開設

ポンプなら
朝鮮全道の御用命を殆んど一手に引受けて居る
信用ある熊平へ
京城本町二丁目
熊平支店
電話六二四番 振替京城二三番

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

●今を盛りの明太魚

毎年百五十萬圓の海の幸
新浦、馬養島海岸の鮮魚の山

或る内地人の漁夫が憤慨こゝを云つた『明太魚の漁夫といふ奴、あれでよく他人の網を破つたとか他處の明太魚を盗むだとかで随分喧嘩もやりますが、併し他處の刺網でもひつかかつた場合には決して斷り放しにて行くやうな事は行りません。假令一旦は切り捨てゝも、後は必ず結むで蹴いてやるのは洵に朝鮮人の可愛らしい處です。』と

◇賀にも彼等は酷寒の夕方から港を出て海上五十哩百哩の沖合に夜の寒氣と波浪とに戰ひながら翌日の未明まで明太魚を撈る。其の黒い海底の浪間から溌剌たる明太魚の群を抄ひ上げる時の働らきは却々内地人の漁夫が眞似られぬ藝であると云ふ。船が沖合で漁つた明太魚を満載して歸れば港にはまた明太魚の乾燥を受負ふ者が居つて其費用は一駄二千尾に就き六十尾宛を貰ふ約束ですつかり二十日餘許りに乾しあげて了ふ。殊に明太魚漁業の中心地たる新浦及び馬養島に於ては毎年の漁期たる十月から二月中は海岸一面の明太魚の山を築き家々の庭には殆んど軒と同じ高さに明太魚棚（棧）が造られて、二層或は三層になつた棚の上には

◇藁で鰓を結いだ生のまゝの明太魚が處狹きまでに吊乾しされてある。猶ほその臟腑を出す事は主に婦人や子供の仕事であるがその卵と腸と肝とはそれ〴〵副産品として貯へられる。殊に卵は『明太魚の子』として朝鮮流の水壺に納めた上地方に廣く賣り出す。肝はまた貴重な肝油の原料となるが、今では多く釜山で養た上咸南の山奥で用ゐる燈火用の魚油こして賣られて居る。○腸の膝（？）明太魚は遠も亦却々の珍味である。明太魚は主に冬至頃に至つて陸地に近づき産卵する。同じ明太魚でもその産卵前のものは非常に甘いけれども春になつて漁れる『春太』となると大に品質が墜ちるといふ。叉平素はいつも

◇海底深く遊泳する魚屬であるから漁場はなるべく淺い處を選ぶ。兎に角毎年冬期三箇月内外に於て平均漁額百五十萬圓をあげ西海岸の石首魚と東海岸の鯨と共に朝鮮三大漁業の一つと唱へられる明太魚漁業は將来益發展せんと期待されて居る。殊に京元鐵道の開通後は朝鮮の山村僻地までも生明太のまゝに運搬され得る便利も出來た。元山には鮮人側に大きな問屋も尠くないが又内地人側にも大浴商會などの取扱店がある。併し一番最始に此の魚を取扱つた内地人は元山の水産家大塚氏であつて氏の取扱つた明治十五年頃には蔚山まで朝鮮帆船で送られた明太魚が十隻の内半分の五隻安着すれば充分儲かつたものであるといふ。

◇其の後明太魚の集散地は釜山に移り現に草梁には北魚の倉庫會社まで設けられたが近來明太魚の集散市場は鐵道のお蔭で元山に移つた。毎年百五十萬圓の海の幸、明太魚も亦偉い哉（完）

◇明太魚の元祖として昨紙に記した太氏の一家は其の後咸鏡北道明川郡ボアムに一族繁昌と聽き及んで居たが現に京城光化門通明月館前の辯護士太明軾氏もその後裔である相な

木村清憲一行藝題 亂れ髮 二月九日より 壽座

大石黄海畫伯の『日月の梅の雙幅』

●要塞地帶内に大爆發
不敵なる漁夫＝防備隊汽艇の追跡

去月二十日午後一時三十分頃鎭海灣要塞地帶内第一區右鰲觀測所下沿附近にて大爆發ありたるを陸軍砲兵曹長小野升氏之を聞付け直ちに現場に驅付けんとせし折柄疑はしき日本漁船一隻乘組員三名の船は浮雲興角より天城面方面に進行するを認めたれば衛兵と共に大項里に急行し船一隻を借受け鮮人五名を雇ひ之を指揮して天城面方面に到る時右の船は追手に

▲腑を上げて 既に沖中に出で居りしを以て逮捕の術なく殘念ながら居りし處幸に鎭海防備隊の汽船演習の爲其方面に遊弋し來り天城灣軍用棧橋にあるを確めたれば直ちに急航して事情を述べ汽船に乘り移り追跡すると約四海里にして逮捕し釜山牧の島東船長西木健一（二七）外二名なることを判明し取調べたる處同日午後一時三十分頃要塞海内に五人乘の日本漁船がダイナマイトを投入し魚を捕へ居たるを見たる由申立てたれば直ちに燈臺方面に進みし所果して燈臺下に於て疑はしき

▲四人乘りの日本漁船を發見したるにより追跡逮捕し取調べしに船長大西豊、船員兒玉米吉（三）、船員粟原清治（三七）便乘者渡邊與平（三六）の四名にして ダイナマイト二十四個半雷管二十七箇導火線一尺位のもの一本所有し居りしを以て有無を言はせず引立て鎭海憲兵隊へ引渡したれば憲兵隊にて調査したる上更に檢事局に送られたるが九日公判に火藥取締法違反の罪名に問はれ懲役一箇年に處せられたり（馬山）

金牌受領 髮を黒く長くつやを出し香をよくして髮の爲めに妙 本橋香油

山口外 その日〳〵

△一口燒（菓子） 六十目程の砂糖を鉢の中へこし込み玉子二個を割り入れ水二勺さを加へてよく攪り合せメリケン粉百目の中へベーキングパウダー（ふくらし粉）茶匙一杯を加へて漉したのを其中へ加へなほよく攪り合せ、爼の上へ薄くメリケン粉を敷いた上に取り出し一分位の厚さにのばし少しづゝちぎつて、隙れて用意して置いた餡を五厘銅貨大に丸めたのを包み皮を庖丁で切り細長く手で形を拵へテンパンにのせ其上面へは玉子をとき水を加へたものを塗りつけ天火の中で六七分間燒き取り出して小口から一口に食べられる位に切つて出します

商況

債券現物特電
東京 十日東京値段（前日との比較）

東洋拓殖	七一、五〇	
日韓瓦斯	一五八、〇〇	
朝鮮銀行	一八二、〇〇	
朝鮮鐵道	[illegible]	
南滿鐵道	一五〇、〇〇	

公債直取引
東京 十日出來値段（前日との比較）

九分特別	八三、〇〇
五分甲號	八三、九〇
一回四分	九七、〇〇
二回四分	[illegible]
甲五分	[illegible]

深川在米特電

十日現在高	
朝鮮米	一八三、〇四七
内地米	九八、〇五六
朝鮮米	二二〇、二五四

東京期米特電

限月	十日前場	後場
當限	一四、〇八	[illegible]
中限	一四、〇〇	[illegible]
先限	一三、七六	[illegible]
寄付	一三、七七	[illegible]

大阪株式特電

種類	拂込	前日後場引値	十日前場
大阪株式	五〇	[illegible]	[illegible]
東京新株	五〇	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
台灣製糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和泉山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

限月	十日前場	
一月限	一二四、九〇	一二五、二〇
二月限	一二五、七〇	[illegible]
三月限	一二六、三〇	一二六、四〇
四月限	一二七、三〇	一二七、三〇
五月限	一二七、六〇	一二七、六〇
六月限	一二八、七〇	一二八、五〇

大阪期米特電

	十日前場
當限寄付	一三、三二
中限寄付	一四、一三
先限寄付	一四、三二

雜報

●製粉軟弱持合
小麥は米價低落の影響を受け一層不振の傾向を呈し居り關東方面は其人氣なるにも八升三合は何れも買入規定厳格なる目的の如きは飽より取入規定厳格なる爲め八升以下にては一寸買物過の形勢なり尤も地方雜穀商手筋の思惑は相當の數に達し居るが之等は本月中に於て到底賣切れざる可く或は三月以後に於ける米價の成行によりては手放す事となるが如し尚近縣地方の農家の手許にも可なりの持越あり昨年よりは五割以上豐富なりと稱せり而して製品は各社一樣に二匹七十錢を固守し居れど市中問屋は麵類其他の不捌により新規商談行はれざる結果として三四月取引の二圓六十五錢を以て手合に應じ居る振合なるが何れ會社側の値下を見るか或は需要者側の買進みによりて更に一段の躍進を見るか目先き混沌たる市況なるが如し

●製紙原料暴落
輸入減少需要増加より暴騰せる製紙原料は瑞典政府の輸出禁止を傳へて益々其氣配を昂め一封度十七八錢さへ半時に比し三倍の高値に騰貴したるも是れ以上の高値は到底製紙家の手出し兼ぬる處なると共に幾分伸び悩みつゝありし市況は一般北米非たる輸入の驚嘆しつゝありし折柄右禁止は全く絶對的のものにあらず船腹だに整はば積出し得さの情報を齎らせるより其後氣配は一層軟弱に傾き殊に近く三千噸許りの入荷あり更に本月中下旬に亘りて各約ヵ千噸宛到着すべしとの入電ありとかにて大阪方面は既に氣挫け昨今早くも十二三錢見當の五錢方暴落氣配を呈すに至れり併し前途の輸入難を見越せる際安値は何れも奪ひ合はんさするの模樣あれば是等の入荷は忽ち消化さるべく而も多くは約定品にして思惑的のもの割合少ければ其消化を待たずして再び氣配昂上し市價の騰貴を見るならんさなり

●毛斯倫大暴騰
毛斯綸は六日來東西兩市場共に大に九錢五厘はて堅く持して動かざりし買進み來りたれば甚だ百番は遂に五十一錢五厘の實に五十二錢五厘てふ新高値に進み底抜き値を見るに至る

意仲々強健あるが如し 高値にて賣飛は殘へたりといへ原料不足にて各會社共に大に組み立つるの外なく容易に鋭鋒の手術を得難き爲め手持筋は先高見越にて益々惜みの念を加ふべきを以て更に一段の狂騰をきたす保し難し

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長一〇二一三、七三九

●皮革と製靴
皮革は染料及び藥品騰貴の影響を受け騰貴を示せり當地に於ける價格の變動はクロー厶皮の如き月來の如く一手に付二割の利めとして象皮百斤に付二圓の高値となり目下クロー厶皮上品一坪六十五錢大田製皮十錢象皮百三十二三圓羊皮錢さなはるが此外靴用附屬品も木釘、紐、革、チャレンジ叉

▲漸騰の歩調 を辿り八十圓内外の經費にて八十圓を唱へて戰前に比して

▲倍以上の價格に 上騰せるに拘らず、百圓を賣現

今日にて斯かる状況を傳ふる處を以て今日にても未だ供給は間に合はず需要者は

▲製靴業者 には多大の打撃を與へつゝあるは一方之が原材料の騰貴に伴ひ自然製品の値上を爲す事となりつゝありて戰前より製靴一足に付き要する主なる物はクロー厶皮五十錢讓護六十錢象皮十五錢其他の附屬品を合すれば殆ど二圓に當れりさ

●空罐と空瓶
石油空罐は其後愈々落付引續き三十二錢ひの價なるが過般暴落の原因とも見るべきは例年此處大連方面の需要期にて今から一時買附ふりに一方にて漲るさ共に相場の低落を見るに至りし反動なりしが現在の處は先づ當分此邊の値位を持續すべき傾向なり

▲空瓶の中ビール瓶の如き一時暗澹たる状況なりしが最近は戰爭勃發以來全然輸出杜絶し支那方面の輸出ありしも近來輸出なく全部内地への外なき始末にして當地の比較的利潤の多かりし顧客の取引を失ひたる事にて自然割安なる必要を生じ其結果今日にては平均五六厘の買相場なりといふ

●化粧品と小間物
化粧品の原料は近來益々騰貴に附し品類迄に影響を及ぼし酒類は原料と染料高により約三割方の騰貴を爲し花カンザシ類は其の他の地類高さ染料高により三割方の騰貴を爲し石鹼類も又原油の騰貴により同様の成行を示し其他石鹼類も曹達の騰貴に至つても原料及び瓶其他の材料の值上げを受けて昨今内地製造者に於ても又暴騰の影響を受けつゝあり目下の形勢にては當分騰貴を續くべしと

田 一般實貨の現物價格整理 報大鉄御送附可申候 田中金兵衛 電話長一六二八 一五二一番

下關相場
▲朝鮮内米も氣強し 昨紙既記の如く産地引締りを傳へたるのみならず其後出廻り少なく今の本筋より買の手も集まりたる結果市況氣強く本日の出來値は別項の通りにして尚強含みの商情なり

▲輸入大豆は矢張不味 其後漲り六叺の百叺のみ

▲大豆は矢張不味 地も依然安からぬ爲め思惑の買ひ急ぎもなく依然悪し昨紙記の如き格別の商状なく至つては當地の内地買氣の少ないから之れが駈々の出来高は別項の通りなり

▲小豆は變らず 其後備中白小豆の産地との比較上不引合にて手筋の買も少なく

各地商況
○木浦（八日の穀物）

鮮一等白米（當用）	十三圓八十	十三圓九十五錢
同 二等白米（當用）	十三圓五十	十三圓四十
同 上一等白米（當用）	九圓五十五	九圓
慶州大豆	九圓四十五	
元山大豆	九圓六十五	
永同大豆	九圓	
淡白大豆		

△米況 大阪保合軟なるも未だ當地は先きの人氣を持し居れど前場は低調を辿り大崩れの氣配は見えず下落の買場は大にあらざる處十二圓の値を見込む

京城正米
別項の如く二三割方の高値を保合ふ今日の買ひ込みを見越しての好市況にて

▲本日商内 三等米十四圓八十錢見當也

京城雜穀
小麥は別項の如く其後頻出せず前日比にて三十錢方の下落を見たるより一時賣手出でたるも直ぐに買戻され旺盛なる取引を見る

南大門の廻米

若木大麥	二五叺	秋風嶺花子 九叺
論龍麥	二六〇叺	小井里白 四六叺
混川白米	二四叺	

確實 仁川海岸町 取引所仲買人 廣澤七次郎 迅速 電話一六〇番 六二〇番

仁川現物市場
△觀人米少なし 觀人米は仁川にて期米安に拘らず保合の唱へ

△正米 京米三百餘叺

△氣配 觀米同樣の人氣なるも午前中商談行はれず

△大豆入津なし

仁川期米
大阪十日前場 四圓三十錢

▲十日前場
一錢高の入電 中十四圓十三錢より一十五錢と伸び一錢安に寄付き前場一錢高にて大阪二節十一錢

▲暴落移 りて二節〇五錢と下落したるが買物多く八錢を採み合ひ 十九錢

四節十九錢

市場閑
▲前場 中限〇十一圓十三錢五 先限〇十一圓〇三錢

▲依然動かず
入電に十一圓十一錢と寄付大阪保合を受けて〇五錢を放れたるも今の買退きに八錢と返して動かず遂に前引

▲今筋買退く
大阪の落調を受けて保合人氣となる

▲前場の手振り
機として四千七八百石喰ひ退き之に向つて内地其他より賣向ふたり

▲新動機待ち
大阪の成行は甚だしき 十五錢五厘の高値

仁川米豆取引所
十日の四月限

寄付	十一圓十八錢	
前引	十一圓十五錢	
後場	十一圓十七錢	
大引	十一圓十七錢	
高値	十一圓二十錢	
安値	十一圓八錢	

賣買取組高

二月限	四萬	二千四百五十石	
三月限	五萬三千四百五十石		
四月限	三萬四百五十石		

九日後場 出來値 前日と比較

一二、一〇	二高	
一一、〇〇	三安	
一〇、八〇	二安	

北濱だより

▲臺灣新株
砂糖株も賣材料なき今は買氣旺盛にて 昨今の趨勢を見るに頗る高値に向ひつゝあり

▲京阪電鐵株
今季は御大典の臨時の收入もあり新株を買ふもの多く當時の收益は其後も増加の見込あるもの

動かざる原因

約八萬石の取

早全力を盡し

繰返す相場は保合

限月行如何注目

又利喰と新規の買物

好調と落調

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三番
二月七日より新寫眞替
○新派大悲劇 想夫憐 全三卷
○稀代の怪婦『プロテア』 全九卷八千呎
○舊劇 後藤又兵衛 全四卷

本町 壽座 電話五七八番
新派劇 角藤派 木村清憲一行
九日より朝日新聞連載 亂れ髮 前編全十場

本町 黄金館 電話二六三七
○泰西軍事大活劇 一九一四年 全七千呎
○軍神 廣瀬中佐 全一卷
○實說怪談 本所七不思議

新派自然劇團三輪實一行 新龍山 佐久良座
二月十日藝題 子夫人

大正館の三大寫眞
舊劇 後藤又兵衛 黒田家退去より大阪入城助勢迄
新派悲劇 想夫憐
稀代の怪婦プロテア
道理で連夜滿員

本町 壽館 電話一〇五〇
今回發表致したる大悪漢石井谷藏

彼町 御成座 電話二九一
二月十一日替狂言（七日目）
本朝廿四孝 全六冊 一場

明治町 浪花館 電話二六〇番
京山若圓 京山恭爲合同大一座
九日讀物

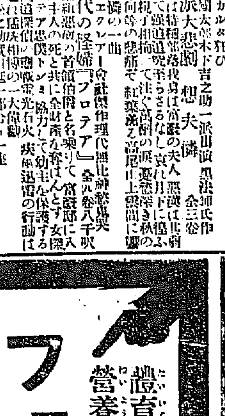
明治町二丁目 岡村介石 易

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話一二二 一〇七 振替貯金京城二〇五

株式會社 漢湖農工銀行 京城南大門通二丁目
支店 開城、春川、江景、鳥致院、太田、公州、鐵原、清州、忠州、論山
電話 五五二 五五四番
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候
資本金 壹百萬圓
政府貸下金 三十二萬九千二百圓
農工債券發行高 八拾萬圓
銀行長 白完爀
支配人 遠山熙

體育保全の營養新劑
フェロールを飲めば
病人は力附き虚弱者は健康に健康者は益々強壯に病を知らぬ人となる
昔は保命酒、明治時代に養命酒、大正の今日はフエロール也 其美味は何人も喜び病者の見舞に適し酒精分少もなき滋養食品なり
大瓶 中月以上約廿日分 壹圓七拾錢
小瓶 七日以上約十日分 壹圓也
創業元 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛
賣捌は各藥店にあり



内科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）
中島醫院
院長 中島貞信
電話三七八番

越後大評定

第百二十七席 早川貞水口演

使者岡島壹岐

此時當年十八歳、忠臣の一人岡島壹岐『恐れながら斯かる大事の御使者猶豫いたす塲合に是なし、依て乃公御使者被り度存ずる』と進み出る、光『壹岐其方に申し付ける』壹『ハ、ハッ有り難き仕合せ』壹岐は美作が否と云はゞ、刺し殺して相果てんの覺悟、その昔慶長十四年の大阪の戰ひに、木村長門守重成、關東關西御和談の時に、大御所の御神元見届けのため、大御所御前へ罷り出でたる其時の態度の、如何にも沈著なるには並み居る人々を驚かし、仙臺中納言宗政公の如き『梅ケ香を櫻の花に持たせつゝ、柳の枝に咲かして見ん』と賞められましたのは、實に武士道の龜鑑となつて居ります、それと是れとは事異りまするが、岡島壹岐、長門守にも劣らざるの覺悟を以て、小栗の屋敷へ參り美作に對面を致しますると、美作が『美』是は〱御使者の儀御苦勞に存ずる、何事にて候ふか』壹『壹岐事大殿よりの上意』美『ハ、ハッ』壹『其方儀、是までの役儀を召上げ、乾度隱居申し付けたり、松平掃部事、今日改め御離緣と相成つたるに依り、左樣心得て然るべし、尤も此度隱居の儀に付いては專ら謹愼を旨として、今後沙汰相待つべし』美『ホ、ホーツ』思ひも寄らざる所の大殿よりの御譴、餘りに嚴しきに依り、美作暫く手を支いて下うつむいて居たるが『御上意の趣、謹んで御受け仕りまして御坐る』役目が濟みましたから岡島壹岐『美作殿、御使者の儀御上意相濟みましたるに依り、御心添へまで申上げるが、今後萬事を謹み、表裏の門を嚴重に閉ぢ、主君の御沙汰を待たれるが御貴殿の御利益と存ずるコリヤ壹岐御心添へ迄のことで御坐る』と云つて立去りました、美作斯く相成りまして見ると、謹愼しなければならぬから、愈々是から裏表の門を閉ぢ謹愼、味方一同皆蟄息して終ふ、そこで岡島は引返して、御上使の相濟んだ事を申上げる、荻田主馬は御禮を申し上げ、御前を退ると、茲に長稱寺へ參り『主』此の如く取計ひたるに依り各位方にも御安心あつて引取られよ』之を承はつて酒尾庄左衛門及川兵藏の兩人主馬に向ひ『誠に此度の御取計ひ、有難く存じ奉る、併し乍ら共此の如く騷動いたしたるは、上へ對し恐れ多きことなれば大殿樣へ申譯のため切腹仕るに依り、何卒御赦し下される』殘る百有餘人の者、何卒御赦し下されて度』と玆に兩人が切腹いたしまして大殿へ御詫びをいたしましたから、百有餘人の殘る人々は何の御咎めも御坐りません然るに玆に越後家一番部屋の足輕、田口勘十郎と云ふ者、延寶六年四月二十一日越後國高田籠田鍛治橋と云ふ所へ參り、用足しをして立歸る途中、月見ケ丘なる小栗美作の屋敷の門前に掛り、前後の門を竹にて閉ひあるを見て『嗚呼當家は小栗判官の末葉にして、中興先祖小栗美濃守殿長篠の戰ひに、五の字の指物を賜り、姉川の戰ひに、又一番の高名を立てしに依つて、又一郎の名前を賜り、其後美濃守に任ぜられ、信州高島に於て三萬石を領せしが、御當家御國替への節は、一萬二千石を返納して今は一萬八千石、當主は御一門の永見大内藏殿の妹を妻女となし、時めき渡りしに惡心のため、斯く淺ましき籠居の體、氣の毒の至り』と暫く足を停めて、屋敷の模樣を見て居ると、折柄内より小門を開く者が御坐いました。

入院隨意(診療夜九時迄)
泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話一九四一番

お聞きなさい

▲軍用金を隱す俘虜 大阪收容の獨逸俘虜リッドミラー(四三)は元獨亞銀行青島支店長だが青島陷落の際同銀行にあつた軍資金百四十萬圓が行衛不明なので嚴探中同人が蜜柑箱十箱に納めて隱匿せる事發覺し此程青島へ護送されて取調を受けたが大阪へ送還された

二月十二日九星
舊正月九日己卯 本命四綠 建除先負
▲四綠● 調子外れさなる事有日 新事に合[illegible]北方は[illegible] ▲五黄● 脚下の見えぬ事有日 新事手控[illegible] ▲六白● 不[illegible]日 [illegible] 吉 [illegible]防ぐべし [illegible]と雖も新事[illegible] ▲七● [illegible]のやう[illegible] 新事手控[illegible] ▲八白● 齒痒ゆき事有日 辛抱して新事手控[illegible] ▲九紫● 利を[illegible] 女子は行儀を守るべし 轉居入學[illegible]求職[illegible]吉 ▲一白● 位の[illegible] 轉居開業入門求職[illegible] ▲二黒● [illegible]試験を受る等萬吉 ▲三碧● 花の如き日 轉居旅行[illegible]入學名弘金談[illegible] 嫁娶取美術業等皆吉

二月十三日九星
舊正月十日庚辰 本命五黄 八方塞滿佛滅
▲五黄● 謀らんとして反て謀らるゝ事有日 注意 [illegible]事見合南方は吉暗劔なし ▲六白● 床しき日 轉居旅行出盟名弘求職探[illegible]婚禮大なる金談を斗る等萬吉 ▲七赤● 絢爛たる日 轉居入學金談名弘入求[illegible]婚禮入寄業等皆吉 ▲八白● 位まけのする事有日 新事手控轉居[illegible]一切のかけ事を禁ず ▲九紫● 財物聚る日 轉居旅行川漁名弘求職金談婚禮[illegible]業等を起す等萬吉 ▲一白● 何となく拔目多き日 注意新事手控常の事は吉 ▲二黒● 痛し痒しの事有日 新事手控轉居は吉婦人のせわを爲す勿れ ▲三碧● 勃然する事有日 新事手控轉事は吉又爭ひを防がるべし ▲四綠● 氣ぬけのする事有日新事手控轉事は吉 賃借の口入等せぬがよし

京城府告示第一號
來十一日紀元節ニ付當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時三十分ヨリ同十一時マテノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ
但シ服裝ハ「フロックコート」若ハ羽織袴トス朝鮮人ハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ
大正五年二月九日
朝鮮總督府府尹 金谷充

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に副ふ可く候
京城日報社 寫眞製版部

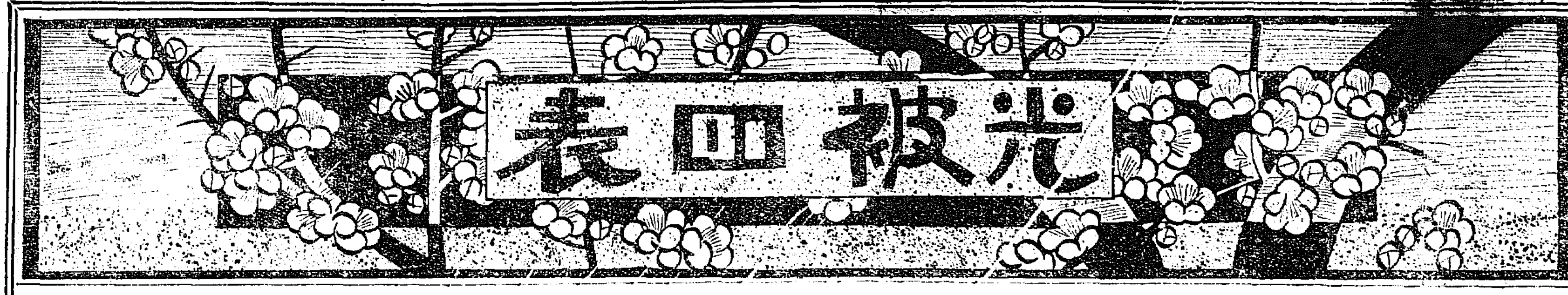
東京帝國大學法科大學教授法學博士松崎藏之助先生著◎發賣所 東京神田一橋通町 有斐閣(振替東京三七〇番)
增訂 最新財政學
改訂增補愈々出づ
菊判全一冊紙數約八百頁 上製正價金三圓 並製正價金二圓七十錢 送料内地金十六錢、鮮支金四十五錢
財政學の著書として好評嘖々發賣以來忽ちにして版を重ぬること五、これ又全部賣切、一昨年遂に絶版となり大方の期待に辜負せられしも爾來改訂増補中の所愈今回改訂成り全部改版面目一新せられたり。

無双醇良清酒
衛生無害 品質無双
登録商標
首藤合名會社吟造
精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醤油 龜甲萬 各種 シトロン 三矢サイダー 布引 各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黄金町(電話一一七一番)

學者の創製したる
美顏白粉
宮家の御料に召さるゝ譯
美顏白粉は學者の創製したる、學術的に完全な最も新しい白粉であります。學者の眞面目な研究で出來た白粉ですもの、衛生上から言つても實際上から言つても完全無缺な事は申すまでもないことで、この白粉の、從來の白粉よりも飛拔けて良いといふ事が次第に世に知れ渡り、大變な人氣を引起しましたにつけ、此事何時か高貴の方々の御聞に達し、昨年の三月始めて御用命を賜つて以來、引續き美顏白粉ばかりが御用命を蒙るやうになつたのであります。
(廣告)
▲生れつき色が白いやうな白さに附く白粉▼
2578.15
▲名譽の美顏白粉を創製したる
桃谷研究試驗部
顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏
專任 藥學士 桃谷幹次郎 藥學士 小椋時次郎 藥學士 齋藤 銳助

汽車
[illegible]

京城日報
十一日朝刊
(第三千二十七號)



紀元節

吾人は年々斯の季節に於て斯の佳節を迎ふ。然かも斯の佳節を迎ふる毎に、吾人は其祝意の更に新なるものあるを感ぜずんばあらず。我皇登極の大典を擧げさせ給ひたるは、近く去秋に在り。萬國の衣冠咸く臻り、萬民の歡呼巷衢に溢る。實に曠古の盛儀にして、皇基愈々固きを加ふ。所謂寶祚之隆與天壤無窮者。而して露國皇帝は本年に入りて特に其の皇叔を派し、亦た羅馬法王は其の特使を名代とし、賀詞を述べさせらる。伊勢の濱荻まれかずとも四方のくに〳〵自然に慕ひ寄るものか。

青島の攻略、狂艦の掃蕩、歐洲大戰勃發以來、東亞及太平洋上の治安が、偏へに我國の威武に依りて、保持せられ居るの一事は言はずもがな。今や歐洲に於ける聯合軍は、我國直接間接の援助に依り、其の志氣を支持しつゝあり。而して日支協約は昨年を以て締結せられ、我が勢力圏たる滿蒙に於ける邦人の立脚地は、愈安全且つ鞏固を加ふ。礎石既に成る。大陸に於ける政治上及び經濟上の發展、亦た期すべきか。

我國は、軍事上に於ては、曾て世界の强國と騈馳して、敢て後を取らざりし也。然かも富の力に於ては、遺憾ながら、未だ債務國たるの域を脱する能はず。然るに歐洲大戰勃發以來形勢幾變遷。今や我國は一躍して軍需品供給者の位置に立ち。而して我が政府は、既定計畫の外に、先きに英貨鐵券償還の計畫を定め、更に佛貨鐵券の償還を經企し。民間銀行家亦た進んで五千萬圓の露國大藏證券を引受けんとし、締約既に成る。經濟上に於ても我國の位地は、一轉せんとしつゝあり。

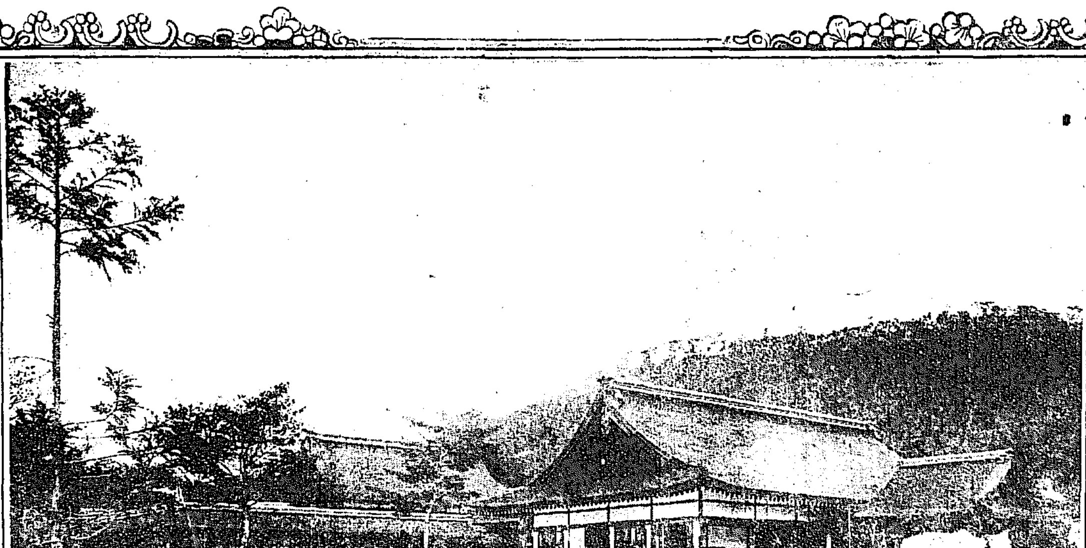
内外各方面に於ける形勢の進展斯くの如し。東洋の政治問題に關して、我國が自ら盟主の位地に立ち、彼此共に成を我に仰がんとするの觀ある、故なしとなさず。轉ては東洋の事亦た東洋人に依りて支配せらるゝに至るべき乎。

要するに今や我皇の德澤は六合に洽ねく我皇の威武は八紘に加りつゝある也。而して其端の開かれたるは、即ち二千六百年前の本月本日にして。我が皇祖建國の遺業は、今日に於て、恢宏、且つ擴充せられつゝある也。吾人が斯の佳節を祝するに於て、其の意味の年々新なるを覺ゆるもの、即ち之れが爲めならずんばあらず。

惟ふに斯の佳節を祝するに於て、鮮人も亦た吾人と其慶を共にし、其感を同くするものあるべし。吾人豈鮮人が新たに我皇の德澤に浴したるの故を以て、爾か謂はんや。鮮人と日人とは、其の人種を同一にし、其の歷史を共にし、而して三千年來其の交通を絶たず。曾て立國を異にしたるも、氣相通じ、血相交り、日人の興隆は、事實に於て、鮮人の興隆と異なる所なきが爲めのみ。

豐明殿

紀元二千五百七十六年の二月十一日、洵に今上御即位第一次の紀元節也。昨年の紀元節は、時未だ諒闇に屬したれば、一切公式の御祭典御儀禮等は行はせられざりしが、今年の今日は、盛大なる御祭典、御儀禮を行はせられ給ふと漏れ承る。此の日、聖上御親から、祖宗を御親祭遊ばされ、又た内外文武百官を豐明殿に召し、酺宴の御沙汰あるべし。抑も此の豐明殿と申すは、明治二十一年の新年宴會を以て、御使用始めと聞えたるが、御建築の模樣は折上格天井にして、約三百坪の御建築也。式は日本宮殿式に、幾分か洋風を加味したるものにて、御備品等に至る迄、建築當時其儘なりと申す。最初の新年宴會に、此の豐明殿に召されし日本の文武官は僅に百二人にして、外國使節は十三人と云ふ少數なりしが、其後逐年國威の發揚と共に、參列の諸臣も激增し、明治二十九年の天長節には二百二十五人に增加せり。這は日淸戰爭の結果功臣の增加せるが故なるべく、同三十四年の天長節には、公侯以外に伯子男の參列ありて、五百七十四名に激增し、日露戰役を經たる同三十九年の天長節には、六百七十九人に增加し、同四十五年の紀元節には、七百三十七名を算し、大正三年の新年宴會には、實に九百五十一名を、同紀元節には八百七十九名の參列ありたり。現在に於いては、華族以外の、所謂親、勅任官のみにても優に一千名以上の文武官を豐明殿に召さるゝ事なるべく、されば豐明殿は今や狹隘を告ぐるに至り、最初新年宴會の當時其の宏大に驚きたる同殿も、國運の進展と共に、今日にては餘りに狹きに過ぐるの觀ありと。豐明殿の狹隘を告ぐるは、即ち國威の隆々を證するものにして、國家の爲め洵に慶賀すべきことにこそ。


最近の橿原神宮

日報俳壇 雉子郎選

雜吟

寒菊や病む鷄抱へ爐に居れば　東村
山茶花に風に鳴きゐる木戸動く　同
山國の川一筋や冬菜畑　同
荷揚場へ帳場を出るや冬の雨　同
嘆ろふ倒影踏み行く門廣き　同
足袋繕り嘆き雛持を頼み見　青居
入綺のよくや門前を來し　同
先人の技巧としるゝや春星忌　同
（鼠は…悲しみに）默然と火鉢抱きゐ親無き子　同
凍し道に驢馬鬪むや五六人　橙黄子
鶯聲宗を知る柚子に森晴し　同
鳴浮ぶ並木淋しと通りけり　同
襟巻に歩む事遲き女かな　雲帝
葛枯れ崖の高さや水を汲む　同
曾れぬ日に雨水凍る路傍哉　同

冬梅

溫突の起居にも慣れて室の梅　春陽
病む人の此言日に增す室の梅　同
日ざす緣に動かぬ蜂や室の梅　麥圃
寒梅や裏は廣々と興謝の海　東村
讀まぬ書を又買ふ主冬の梅　雉子郎

冬の月

下りし驛あまり淋しや冬の月　東村
寒月や裏門を入る苞苴の荷　山民

物品購買公告

一、溜砂利　貳拾壹坪貳合貳勺
一、溜砂利　拾四坪

右入札保證金各自見積金高ノ百分ノ五以上ニ附ス
本件供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書契約書案設計書仕樣書等熟覽ノ上二月十四日正午十二時限リ同庶務係ニ入札スヘシ
開札ハ同時
大正五年二月十日　京城府

京日案内

普通（一回前金…）

◉女中被雇度　給料を不問市内官吏向にて通勤或は書簡裁縫を望む御希望に應じ本人參上（姓名在社）357

◉募集　看護見習生　希望者は履歴書携帶午前中本人來談　京城本町三丁目　電話一八三一　今村醫院 356

◉辨當　自宅持込三食六圓五十錢二食五圓以上▲其外洋食▲便速送　若草町電話取次二五二四　▲一の瀨店 355

◉外交員數名募集　希望者履歴書携帶本人來談　明治町二町目　電話一二六番　新聞部　朝鮮商報社 352

◉食料雜貨店讓る　市内目抜きの場所　歸國の爲至急讓る（姓名在社）351

◉看護婦及見習生募集　希望者は本人來談を乞ふ　仁川　川畑病院 333

▲古本買受▼　▲御報即時參上▼　▲地方即時送金▼　京城本町電話二五二七　ツボヤ書店 318

◉日鮮人外務社員大募集　俸給並に手當支給但し保證人二名を要す　黄金町一の六〇　國民興産株式會社 346

番外（一回前金六十錢…）

◉見習看護婦募集　京城壽町（日の出學校前）電話九四〇番　多々見醫院 354

◉支那語學生募集　二月十五日午後七時より初學科開始此際入會に限り入會金免す（京城郵便局裏）◉華商總會内　▲支那語研究會 353

▲入用　外勤事務員　齡廿五歳以内京龍に一年以上の在留者身元確實なる者　希望者履歴書携帶午前中本人來談　黄金町三　安藤病院横　朝鮮研究會 349

大阪商業學校卒業生諸君に告ぐ　住所姓名を至急に京城府榮町毛利辰二郎方迄御通報を乞ふ 348

質　京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入）堀佐營業所　電話六三九番 313

小包荷造　箱製造　並に空箱賣買（京城號質向ひ）京城本町二の二　電話二八〇一番　長谷川箱製所 334

◉賣却湯屋　市内目抜の場所主人内地へ引上都合に依り至急賣却致度し希望者來談あれ　▲電壹八四五番　黄金町一丁目百九八　秋葉 339

朝鮮語、朝鮮地理、國漢文、算術、法律大要、夜學教授　二月十五日開學　希望者至急入學あれ　大漢門前　國語普及學舘 345

恩給　年金退隱料長期立替多少　京期は法定利息以内にて即時御融通可申候　短城永樂町一　商品陳列館前　手數立替　江州屋本店 347

和洋御料理　儀式並精進料理　仕出し　京城本町一丁目府廳横（元樓跡）のんき　電話二四九五番　▲材料精撰◉御市内次第速達仕候 279

宇治茶直接販賣

御入洛とお土産
御大典式場拜觀の御上京の折柄御土産には宇治茶が最適と存候弊店は特に勉强仕候間多數御買上願上候
御茶銘錄定價表（二百目ニ付）（京都新地圖無代進呈）
◎玉露製　◎煎茶製
製造本店　山城宇治　營業所　京都七條東洞院角　製茶問屋　井上六平
（振替）東京六二九三　大阪七一一四

東洋ボックス製靴

東洋ボックス製編上靴　第一號　金貳圓九拾錢均一　第二號　金貳圓五拾錢均一
編上皮一枚皮深ゴム靴　第三號　金貳圓八拾錢均一　第三號特別製　金參圓五拾錢均一
ボックスカーフ製編上靴　金四圓均一
但一枚皮深ゴム靴及底形編上靴　金五拾錢増の事
東洋ボックス製長靴　長サ一尺一寸　金四圓八拾錢均一　同　一尺三寸　金五圓參拾錢均一
右の均一靴は精選せる材料と熟練せる技術を以て最も入念に調製せし品にして一般官吏紳士靴として最も上等なる事を確信致す　御注文の節は正確なる足袋文數を御報知あり度し
○定價表御申越次第送呈仕り候　送料一足十五錢
東京市本郷區東片町九十二　振替二〇五三九　電話下谷一九七四
三倉商會高等靴店

新刊書御案内

書名	著者	定價
大正五年最近朝鮮事情要覽	朝鮮總督府	六〇
安心録（縮刷）	南條文雄	七〇
野心論	澤柳政太郎	一、二〇
最新柔術教範	上井藏	七〇
最新稅關手續き	久保田啓藏	二、八〇
日本歷史通覽	高桑駒吉	四、〇〇
かな草書習字速達法	宮永泰二	七五
小學校に於ける教育教授の實務	澤正	一、五〇
狂	大岡川白村	
黎明	茅原華山	一、二〇
エムデンの奮戰	宮家芸男	七五
ちりひじ	森鷗外	六〇
日蓮	村上浪六	七〇
新譯碧巖錄		一、〇〇
朝鮮名勝詩選	成島淑士	一、三〇
初心獨習將棋速成法	關根金次郎	三〇
從軍三年小敵大敵		一、三〇
婦人の爲に	岡垣松太郎	一、〇〇
現代の戰爭	寺田五田	四五
女性中心說	堺利彦譯	七五
中流生活法	嘉悦孝子	八〇
立志小說 友情	堀内新泉	五〇
朝鮮產業指針		

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

第三十七回帝國議會

衆議院（十日）

十日の衆議院は定刻を過る二十五分に開會日程の過半はお土産案にして振はざる事夥し議長より新潟縣郡部補缺當選の中野寛一君を議場に紹介し次で諸般の報告あり小久保喜七君（政友）は本員の提出せる登極令違反に關する質問に對し首相の出席答辯を望み置きたるが如何と質し議長は首相に其の趣を通じたるに來る火曜日に出席答辯すべしとの通牒を受けたりと答へ日程に入る

●郵便法中改正法律案
●鐵道船舶郵便法中改正法律案
●電信法中改正法律案
●海底電信線保護萬國聯合條約罰則法中改正法律案
右四案を一括して箕浦遞相の説明ありて委員附託
●銀行條令中改正法律案
●貯蓄銀行條令中改正法律案
右二案を一括して大西五一郎君（中正）委員會の經過を報告し報告通り可決
●商業會議所法中改正法律案
●坂口仁一郎君（同志）委員會の經過を報告し報告通り可決
●罹災救助基金法中改正法律案
●川井爲巳君（同志）提出理由を説明し委員附託
●裁判所構成法及び辯護士法を臺灣に施行する法律案
●行政訴訟及び訴願に關する法律を臺灣に施行する法律案
●明治三十九年法律第三十一號中改正法律案
●高野金重君（中正）提出理由を説明し委員附託
●齒科醫師法中改正法律案
●綾部惣兵衛君（同志）委員會の經過を報告し直ちに可決
●狩獵法中改正案
●辻寛君（同志）委員會にては政府の意見を質したる上原案を否決したりと報告し伊東知也君（國民）原案贊成意見を述べ樋口金太郎君（政友）高島順作君（政友）も現行法の不備なる點を説明するところあり坪井政府委員反對意見を述べ採決の結果原案否決
●肥田景之君（交友）委員會の經過を報告し岡本政府委員反對意見を述べ高木正年君（公友）の贊成説ありて報告通り可決
●社寺上地下戻し法律案
●軍人恩給法中改正法律案
●野村嘉六君（同志）原案修正意見を述べ本案の實行に就ては三千二十萬圓を要し政府は財政上反對を表し居れり然れども一箇年六十萬圓宛を五箇年間に割り當て支出せしむるは政府も困難ならずとの事なるを以て之に決す可しと論じ武富藏相本案改正の理由は認むるも財政上反對したるが野村説には同意なり然れども之が實行を大正六年度より實行する計畫なりと聲明し萬場一致野村案を可決
●鐵道建設に關する建議案
●森環（同志）の説明ありて委員附託
●地方裁判所支部權限擴張に關する建議案
●樋口秀雄君（同志）の説明ありて委員附託
●植民省設置に關する建議案
●櫻井兵五郎君（交友）の説明ありて委員附託
●鍋田川及び桐川一部修正に關する建議案
●三輪市太郎君（政友）の説明ありて委員附託
●輸出品粗製濫造防止に關する建議案
●小山松壽君（公友）の説明ありて委員附託
●名古屋富山間鐵道建設に關する建議案
●三輪市太郎君（政友）の説明ありて委員附託
●區裁判所復舊に關する建議案
●福井三郎君（同志）の説明ありて委員附託
●蠶絲業振興發達に關する建議案
提出者の希望に依り延期
●中等教員優遇に關する建議案
●井原百助君（同志）の報告通り可決確定
●財團法人同仁會事業國庫補助に關する建議案
●山田珠一君（同志）の報告ありて可決確定
●敦鶴鐵道速成に關する建議案
●山口嘉七君（同志）の報告通り可決し
五時二十分散會せり（東京特電）

◎佛國首相羅馬訪問

或る筋に達せる情報に據れば佛國首相兼外相ブリアン氏は此の程羅馬を訪問したるが其の結果多分伊太利は獨逸に對し宣戰を布告すべしと（桑港電報）

◎英國陸相更迭說

英國陸軍大臣キッチナー將軍は近日中辭職す可しと傳へらるゝが其後任は軍需大臣ロイドジョージ氏若くは募兵總長ダービー卿たる可しと（桑港電報）

◎東拓法案下院上程

政府は十日東洋拓殖會社法中改正法律案を衆議院に提出せり其の要旨左の如し（東京特電）

政府の監督權を朝鮮總督府に移し副總裁を廢止する事

二十圓以下の割增債劵を發行するを許可する事

政府の補給八箇年を十六箇年となす事

◎內相と分與金

一木內相は二月十一日紀元節の佳辰を卜し各地方長官に對し一縣五十圓乃至六百三十圓の範圍を以て奬勵金及び醵成金として總額二萬七千八百四十圓を分與すべしと（東京特電）

◎製鐵追加豫算可決

政府提出に係る製鐵所擴張に關する追加豫算案は十日豫算總會に於て原案全部を可決せり（東京特電）

◎局長知事陞敍

十日如左陞敍發表ありたり（東京特電）
內務省土木局長 小橋一太
巖手縣知事 大津麟平
宮城縣知事 濱田恒之助
陞敍高等官一等（各通）

◎若見侍從武官

天皇陛下より寺內總督以下駐屯軍隊への御下賜品を携へ若見侍從武官は十日午前九時三十八分下關着直ちに關釜連絡船壹岐丸にて渡鮮の途に就きたり（門司特電）

◎侍從武官上京

若見侍從武官は駐劄軍慰問の爲め十日夕著釜十一時發京城に向ふ（釜山特電）

◎神宮御獻木 朝鮮産名木

總督府より明治神宮への御獻木に就きては豫て總督府に於て樹種を定め鮮內各道に就き調査の結果左記六道より十六種百五十五本、二百株を選定奉獻することに決せり

▲京畿道 テフセンモミ二十本、シロマツ十本、コノテカシワ十本、ハクシン二十五本、テフセンコニワザクラ五本、テフセンオニメグスリ五本、カライヌエンジユ十本、クロフセツ、ジ二十株、テフセンヒメツゲ五十株
▲全羅北道 テフセンハツサリカエデ五本
▲全羅南道 ヒトツバタゴ十本、テフセンヤマツ、ジ二十株
▲慶尙北道 コノデカシワ五本、テフセンキハギ十株
▲慶尙南道 テフセンアカマツ十五本
▲黃海道 テフセンハナシドイ十本
▲江原道 テフセンマツ二十五本

而して右の樹木は釜山及び京城に假苗圃を設け本年三月及び明年三月の二回に分ちて全羅南北、慶尙南北四道は釜山に、黃海、江原二道は京城に送付し來り兩苗圃に於て栽培の上造營係の都合を見計らひ大正七年三四月の頃之を一擧として送達御獻木の手續を了る豫定なりと

◎御慰問使日程

御慰問使若見陸軍少將は青木宮內省屬を隨へ釜山迄出迎へたる海寶高級副官の案內にて十一日午前八時四十分龍山著、大觀亭に入り午前十時軍司令部に到り御沙汰を傳へ終りて直ちに師團司令部に到り同じく御沙汰を傳へ十二日は午前九時三十分より步兵第卅五聯隊、衞戍病院、野砲兵中隊、午後一時三十分より騎兵中隊、兵器支廠、陸軍倉庫を慰訪同夜は軍司令官の晩餐會に臨み十三日は午前九時より憲兵隊司令部、京城憲兵隊本部、朝鮮步兵隊慰訪是れにて京城に於ける任務を終り十四日午前發元山に向ふ豫定なりと

◎土木主任會同

總督府にては二十一日より二十五日迄五日間土木局各地出張所長及び道土木主任技術員を本府に召集し持地土木局長統裁の下に第二會議室に於て土木會同を催す筈にて各出張所長は廿日を以て出府を命せられたり

◎林野區分調査

本年一月より三月に至る國有林野區分調査中新規著手の分は全羅南道高興郡、慶尙北道高靈、漆谷兩郡、慶尙南道晉州、泗川、陜川、宜寧、咸安の五郡合計八郡にして全南は本月上旬より著手し其他は一月下旬より著手せり、又再調査の分にして一月下旬及び二月上旬より調査に著手せる區域左の如し

▲全羅北道 南昌郡
▲全羅南道 長城、靈光、咸平、光州、和順、羅州、務安、珍島、海南、康津、長興、寶城、光陽、古禮、靈岩各郡、木浦府、濟州島
▲慶尙北道 金泉、達城、慶山、淸道、迎日、慶州各郡、大邱府
▲慶尙南道 居昌、咸陽、蔚山、密陽、昌寧、梁山、東萊、金海、昌原、馬山、固城、統營、山淸、河東、南海各郡、釜山府

而して右の內慶尙南道は本年度內に調査を完了する見込なりと

◎露國向有望品 日露協會調査

日露貿易は近時漸く兩國當業者の注目し來りたるに加へて從來甚だしく不便を感じ居りたる金融機關の如きも臺灣銀行と西比利亞銀行との取引契約の成立せるあり朝鮮銀行の松田銀行合併問題も目下進捗中にて且つ露亞銀行が圓取引を承諾せる等漸次に不便の除却を見るに至りし爲め益々好況を呈し來り品目の種類の如きも歐洲戰爭の結果著しき增加を示すに至れり我が日露協會に於て最近調査したるもの左の如し

▲輸出有望品

（一）食料品 ▲罐詰（鰤、鮭、鯖等）▲燻製（鮭）▲米、糯米、▲茶（紅茶、綠茶）▲蔬菜類（甘藷、馬鈴薯、小豆、南京豆、青豆等）▲果物類（林檎、蜜柑、梨、橙、レモン、杏、實、柿等）▲食鹽 ▲醬油 ▲菌類 ▲乾貨 ▲落花生 ▲寒天
（二）衣類及屬品 ▲毛織物（羅紗セルヂス類）▲莫大小類（綿、綿シヤツ、股引、手袋、靴足袋）▲絹製縫衣 ▲コール天類（綾織、天鵞絨、細織）▲具類（?）▲衣服附屬品（襯衣、靴下、ネクタイ）
（三）雜貨品類 ▲花莚及疊表 ▲家具（籐椅子、屏風、寢臺等）▲竹材及竹材製品 ▲刷毛及刷子 ▲木製器具（卓子、椅子、匣物）▲漆器類 ▲琺瑯鐵器 ▲化粧品類（其他小間物）▲獸皮及其製品 ▲麤甲細工
（四）紡織材料及織物 ▲生糸、玉糸 ▲羽二重 ▲縮緬 ▲綿織物 ▲麻布 ▲手巾 ▲蚊帳 ▲綿ネルフランネル ▲綿絨 ▲綿紡 ▲綿布
（五）藥物及醫療器 ▲沃度性藥劑 ▲鹽酸アンモニア ▲イヒチオール ▲薄荷油 ▲醋酸アルミニユーム ▲蛋取粉 ▲樟腦油、薄荷末 ▲樟腦 ▲繃帶材料（ガーゼ吸脂綿）▲魚油、鯨油 ▲外科用醫療器械 ▲注射器 ▲ルーデサツク
（六）工業材料及理化學用器 ▲電氣用品（電球、乾電池）▲木蠟 ▲硫黄（一時製粗製）▲樟腦 ▲玻璃製品（硝子管、壜）
（七）礦物金屬及金屬製品 ▲炭類（石炭、木炭、泥炭、コークス）▲鐵製品（鐵板、鐵棒、鐵管、鐵絲、鋼鐵製品）▲ニツケル ▲エナメル塗銅製品 ▲青銅、黃銅 ▲真鍮製品 ▲合金 ▲安知母尼及製品 ▲針金及製品 ▲鼠力製品 ▲メタル類 ▲アルミニユーム
（八）皮革製品 ▲靴 ▲鞄、手提 ▲手袋 ▲鞣皮 ▲馭具 ▲旅行用具 ▲鞍及馬具
（九）植物性材料及製品 ▲麥稈眞田、麻眞田 ▲紙及紙製品（ナフキン、花提灯、傘、扇、レターペーパー）▲糸瓜 ▲百合根 ▲背柴根
（十）窯業材料及製品 ▲陶器 ▲磁器 ▲煉瓦 ▲セメント
（十一）其他 ▲文房具類 ▲玩具類 ▲化粧品 ▲燐寸 ▲自轉車 ▲殺蟲粉 ▲毛髮 ▲バリカン ▲煙類 ▲護謨製品（タイヤ、護帶）▲セルロイド製品 ▲柳行李 ▲馴毛、衣服用、靴用）

▲輸入有望品

◎國境牛疫發生

一時猖獗を極めし國境方面に於ける牛疫も當局者の周到嚴密なる防疫法の勵行により全く其跡を絶ちたりしが客冬來結氷期に入ると共に對岸支那地との氷上交通開始せられ時々其の侵襲を蒙ることあるのみにて近來久しく之が發生を見ざりしが一兩日前會寧に於て牛疫一頭發生せる由にて勿論支那地より侵襲せるものなるが今後傳播の虞れ多しと

忠南縱橫記（九） 鯨洋生

◎江景を辭して論山に至る、江景が働き盛りの壯年者とすれば、論山は未だ新進氣鋭の青年の如し、其の一邑をなせしは蓋し近時に屬すれば、市中未だ整頓し居たりと云ふを得ざるも、新進の氣に滿ちたるは其の發展を證しつゝあり、論山郡廳は之れ迄江景にありしも、近く論山に移されたるものにて、論、江兩面に二里なりと云ふも其の不便を感ずる事多々ありと聞けり、同地は渺茫たる沃野左右に連なり、商業農業共に適當地なれば此の米穀品は必ずや近かき將來に於ては、江景に比肩すべき、農産物の集散地となるべく、殊に湖南鐵道開通以來、其商勢圏を拔きて大田の商業區域を侵略しつゝあるより見るも、以て大に發展すべきものあるを知るに足るべし、◎論山の運輸は、鐵道及び論山川に由る。然るに論山川は其の流域に於て、曲折甚しきを以て僅に二里を距る江景に農穀の運搬をなすにも尚ほ二日乃至三日を要すべく、殊に商機を失し或は意外の事情に遭遇する事あるを以て、今や論山附近産出の農穀七萬石は、近き群山港を捨てゝ何れも鐵道便を以て釜山に向け移出されつゝあるは聊か奇なる現象なりとすべし、然れども其の現象決して奇なりと云ふに非ず、其の[illegible]實に於て、論山米穀の檢査上に於て、亦船舶上の都合に於て、近き群山港よりも遠き釜山港を以てするが、其の遙に勝れるが故なりと

◎論山と云へば、湖南三巨の一、恩津の彌勒は世人の能く知る處なり、[illegible]近に驛、秋、櫻花節を満開し、以て四季の遊客を誘はんとし、今や續々其の計畫あれば、[illegible]必ずや湖南唯一の大遊園地と化するは、餘り遠き將來には非ざるべし、若干の時間を有せば、彌勒の一見必ずしも徒ならざるべし、論山驛より彌勒迄は一里、人力車の便あり

◎現下の論山は湖南鐵道開通後の産物にして、其以前の論山は洵に僻村の一寒邑に過ぎざりしなり、同所草分けの邦人としては三宅某あり、同所[illegible]今日の功者たり、醸造業には適し、[illegible]如き四百餘石を醸造して、好成績を擧げつゝあり、殊に近く同所より全北金堤に至る大道路工事の起工ありて、人夫約十萬人を要すべしと、市內の景氣甚だよし、[illegible]一として適せざるなく、此の天興の盛運を利用し極力其の改良發達を[illegible]ても此の[illegible]しつゝあれば、向後更に一層の見ろべきものゝ多かるべきは何人も信じて疑はざる所なり

◎平壤牛の暴騰

歐戰の影響を受け昨春來牛皮暴騰せし爲め平壤牛の亂屠甚しく其筋の調査を聞くに昨年平安南道一圓の屠牛數は二萬頭內外なるも昨年は三萬八千頭に達し乃ち約二倍に及びたるが其の結果頭數の減少並に近く農耕期に入る爲め耕牛の買入漸く多く行はれ來りし等の理由により近來牛價は一頭十圓乃至十二圓の騰貴を來し屠殺數激減せしが半面精肉價の如きも昨年に比し約四五割方の値上げを行なへり（平壤）

◎仁川學校組合定例會

仁川學校組合にては來る十二日午前十時より府廳に於て評議員定例會を開會すべし

◎亞協會支部役員改選

亞細亞協會朝鮮支部に於ては九日午後總會を開き役員改選を擧行せし結果會長ゲール博士退職して書記となり、英國領事レー氏代りて會長となり、評議員中山縣五十雄氏退職、菱田靜治氏當選したり

●師團長官舍移轉●

第九師團長官舍は今回改築工事のため十日より閉鎖され長谷川町大觀亭へ移轉せり

人事消息

▲三浦彌五郎氏（米國大使館一等書記官） 十日夜入京巴城館へ
▲落秀作氏（平安北道第一部長） 十日夜歸任
▲スタール博士 十二日出發內地を經て歸途に就く
▲井田經理部長 陸軍省に於て三月九日より一週間の豫定を以て開催の陸軍經理部長會議列席の爲三月二日頃出發同廿四日頃歸任の豫定
▲菊中一等主計 陸軍省經理委員會議列席の爲め三月六日より五日間陸軍省の召集に應じ二月末頃出發三月十八日頃歸任の豫定
▲宇木獸醫部長 軍馬衛生狀態視察のため二十一日南鮮地方へ出張し三月九日頃歸任の豫定

南言北語

長江の筒井先生ノコ〳〵北京へ出掛けたらしい▲久しい間考へ込んで居たが何とか考へが付いたものと見える▲腫物に觸る樣に取扱はれて居た老人此の處大久保彥左衞門を氣取つて袁總統に帝政打ち切りの勸告でもする積りかナ▲兎に角此の相撲は出掛けた張勳が負けになり相だ袁總統が捕虜にする事の巧みな事は女郎の金釘流よりも上手だからね▲其れとも張勳をさるものだから討伐手當位はシコタマ懐へ捻ぢ込んで來るかも知らぬ▲革命戰の物騷よりも此の方がズーッと興味があり相だ▲其れに就けても氣の毒なのは馮國璋だ身邊を包む陰雲日一日と深くなりつゝある▲其れ丈け漸々馮の態度も現はれて來るのだが一州を取るも誅せらる八州を取るも誅せらる誅は一のみと出掛けたら面白からう▲奉天の張雨公も北京に出掛けたらしい▲第一雨公は熱河などへ轉任さすると云ふのが段上將軍の心得違いだ▲任命されたつてオイソレと行ける人間ぢやない▲其の樣な事を百も承知の段上將軍が無理に任命する其の間には何かあるに違いない▲裡に裏あり底に蓋あるは支那政治家の常用手段だ▲馮國璋と云ひ張雨公と云ひまさか違へば大騷術をやり兼ねぬ連中だから滅多な事をやると蝮蛇だ▲北軍は叙州を占領したと云ひ革軍は瀘州を取つたと云ふ▲何うせパチ〳〵位はやつたんだらうが叙州の戰はチト報告が大仰らしい▲洮南を占領して奉天を衝くべしと元氣の好い事を云つて居た蒙匪陶什陶の行動は其後何とも云つて來ない▲まさか幽靈組でもあるまいが何となつたのか其れとも巴布札布が作戰上の流言かも知れぬ▲して見ると蒙匪却々味な事をやるわい

◎定例休刊

明日は紀元節翌日に付定例休刊す

有害なる煙草を廢して滋養豊富の本品を召せ

最新最良滋養菓子として高評湧如

ホーカースキート

本品は時代の要求に應じ製菓部專任技師の嚴重なる監督の下に精製發賣せる滋養菓子にして眞正朝鮮人參の主成分に新發見の滋養原料數種を應用したれば品質優良にして味ひ宜しきは勿論滋養分頗る豐富なり常に本品を用ゆる時は咽喉を整へ音聲を美しく胃腸の調和を好くし心氣爽快に元氣忽ち快復するに至る故に上品なる家庭滋養料として今や本品を備へざる御家庭なし

到る處の食料品店、菓子店、雜貨店、小間物店等に取次販賣す品切の時は小舖へ御注文は切手代用にて御注文を乞ふ大二個以上なれば送料無料

定價 小七錢 大十四錢 送料四錢

發賣元 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店製菓部 振替東京二四二八

肺病新劑 金民煎

本劑は從來の『くれをそーと』系統以外の獨特の新製劑にして「ぐわやこーる」を有し防腐殺菌の作用を有し咳を鎭め食慾を進めて營養を增加し熱を去り盜汗を防ぎ腦を靜めて安眠を得せしむる等の効能を現はし○肺結核○肋膜炎○肺尖加答兒○肺炎○氣管支加答兒等に卓越なる効果を奏す從來服用の諸藥と併用するも可なり

希望者 効能書部劵三錢封入申込は無代進呈

東京市下谷區上根岸町 日本製藥研究所

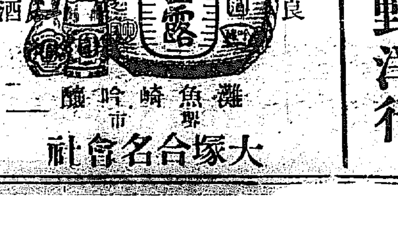
商店の創業と最適當なるシルシ入扇子 特約店募集

一扇子の京都特製
一特約店
一得意
一販賣
一取引

寛文四年創業 吉井照影堂 電話本一六四九

寫眞器械 材料及藥品 直輸入商 コロタイプ印刷

大連市大山通 光明洋行寫眞部改め 佐野洋行



醇良清酒 灘魚崎 吟醸 大塚合名會社

聯邦說と馮國璋（十二日附を以て中央政府及び地方文[illegible]つゝあるを見るべし（北京）

銀行は[illegible]
華當銀行 工商銀行 [illegible] 現銀十五萬元 現銀二十七萬元
[illegible]して內檢査に合格せるもの十八萬五千[illegible]八百四十四
道廳にては巡回文庫を開[illegible]

[illegible]の議會にて支那を[illegible]し各省に世襲將軍を置き直隷を以て全國の首省とし略獨逸の現制度に倣ふべしとの建議をなせし由の風說喧傳せられしが渠等は自ら安ずる能はせりとの嫌疑を受けて二回辯明書を發表せしが今やまた此事あり彼が身を包める陰雲の一日と深く垂り行き[illegible]

[illegible]の重要[illegible]露人二十餘名留紙幣價格釣上策に就き會議を開き左の各項を決議直ちに開始せり

一、東淸鐵道、露亞銀行及び兩貯蓄[illegible]用ゐ市內の交換率も銀八錢[illegible]べき事

▲後場の手振り [illegible]

◉哈爾賓の支那銀行

[illegible]江省官銀號[illegible]の各支店何れも紙幣を濫發して財界を紊亂し居れるが右の外數年間[illegible]

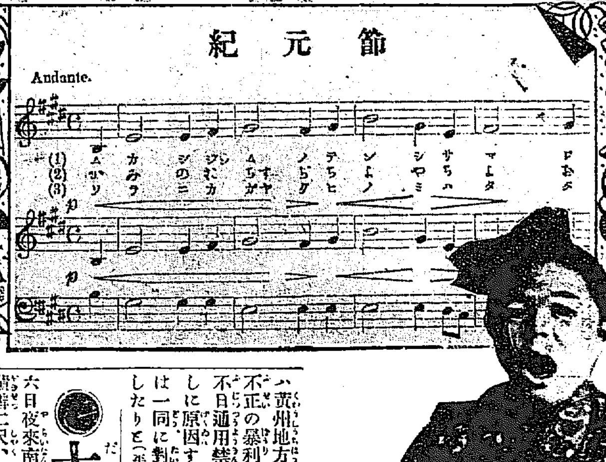
[illegible] 紙幣十二萬元
興產銀行本店 現銀百五十萬元
儲蓄銀行 現銀二十萬元

[illegible]米檢査成績は總檢査數量二十萬八千七百十二叺十萬四千三百五十六石に[illegible]之に伴ふ手數料金は一千八百七十四圓[illegible]十錢なり

◉京城巡回文庫設置

京城[illegible]のとし之れが經費は京城[illegible]り二百圓を支出を受くる筈なり[illegible]して求讀者は郵送料丈は自辨さすべく目下委細の方法に付き講議中なれば近く發表さる可し

祝へ！歌へ！芽出度き今日を！



◉目出度い今日を 何うして祝ひませう？

紀元二千五百七十六年目の芽出度き今日の紀元節は滿街早春の大氣に日章旗靡ける好佳節市中は總督府を始め各官廳寺院神社學校などに至るまで何れも三大節に因むだ

◇芽出度い祝賀式

が催される先づ倭城臺總督官邸に於ては午前十一時より寺內總督が官民多數の祝賀を受け正午よりは京城駐在の外國使臣及び總領事、領事の祝賀あり南山の松翠に佳節の

◇瑞氣立ち罩むる

であらう。次ぎに府內總督府所屬の各官廳に於ても一々紀元節祝賀の式を擧げ猶ほ京城府廳にては午前九時より御眞影拜賀式を行ひ

◇一般の參拜をも

許す筈、又府內各學校にては何れも講堂に於て御眞影拜賀式を行ひ君が代の唱歌に次で校長の勅語捧讀、並びに生徒の勅語奉答の唱歌等が行はれる筈、京城中學校にては早朝午前六時に同校

◇大講堂にて崇嚴

なる拜賀式あり次いで校長の訓話あるべく善隣商業學校、高等女學校、府內各小學校にても各々今日の佳節を祝ふ唱歌の聲が賑ふべく又朝鮮人學校側にても京城高等普通學校女子高等普通學校等

◇何れも紀元節の

式を擧げる。猶ほ南山京城神社にては十一日午前十一時より奉祝祭式典開始修祓神饌祝詞等の式に次いで谷村祭主氏子總代以下參拜者

◇一同玉串を捧げ

て約四十分間の祭典を行ふ筈、寺院にては永樂町本派本願寺以下各宗寺院に於ても佳節奉祝の說教及び三日經がある

◉五十錢銀貨が四十錢に通用 鮮人奸商不穩の風說を流布す

平安南道中和郡看東市場最近の開市に際し五十錢銀貨多數持出され殆んど同貨のみにて取引せらるゝの觀あり然も其の半圓銀貨が四十錢乃至四十五錢に通用し居るより中和警察署にて之れを不審かり調査したる所コハ黄州地方に於ける穀物仲買人等が不正の暴利を得ん爲め五十錢銀貨は不日通用禁止さるとの風說を流布せしに原因すとの事判明せしより警官は一同に對し其の無根なる事を說示したりと（平壤）

◉大風雪

六日夜來南信一帶大風雪にて松本市積雪二尺、南安曇郡三尺五寸に及び電車、電話の被害夥しく名古屋及び東京方面に對して電話不通となれるが鐵道はラツセル除雪車の出動に依りて運轉を繼續しつゝあり（松本電報）

◉小成金が續々出來る 鑛山で儲ける

內地程にないとしても歐洲戰亂の及ぼした好影響が平壤の財界にも幾分か現はれてゐなければならぬ確かな或向きの調査を聞くに大和町の丸吉銃砲店では雲山金鑛より

▲ダイナマイト 六百箱の註文を受け之れを內地の取引店に註文して後雲山金鑛から五十箱の減箱を申し込んで來たが既に內地へ發荷を求めた後だから曲げて引取りを賴む旨交涉中右爆藥の著荷と共に價格暴騰して一箱四十七八圓內外のもの一躍其の三倍の百四十圓にも暴騰したから丸吉は默つて三萬餘圓を儲けた亦平壤館後里にて

▲牛皮と牛骨 を取扱ふ林長太郎氏は歐洲戰亂の結果昨秋露國軍靴の註文本邦に續到し三十四五圓であつた牛皮が一躍六十圓臺に上る勢ひを示した爲め在庫品を澤山持つてゐた氏は一萬圓近くの利益を懷ろに入れた更に大和町雜貨商佐藤幸平金物商淸水龍藏八千代町藤井吉之助の三氏は龍山で

▲鐵道局拂下げ の諸金物を購入し其後メキ〳〵鐵類の値が出た爲め一寸算盤の上で一萬餘圓を殘し亦本町の岩田鐵工所は大同門板倉徐太郎氏の所有に係る金物全部の讓り渡を受け正金五千圓を剩し得た右の外

▲染料や石油の 暴騰に伴ひ大同門の廣田商店鬼頭支店は商はひから少なからず儲つたらしく永年渡邊一等藥劑正主任の下に經營困難を告げてゐた平壤藥品販賣所も近頃の藥品騰貴で全く息を吹き返したらしい（平壤）

◉宗演老師快方に向ふ

釋宗演老師九日の容態は前日に比し稍々佳良にして經過また極めて良好なり前夜安眠を得たる爲め九日は氣分勝れ殊に元氣を快復して食慾も昂進せり此の經過を持續せば兩三日にして發熱期を脫すると共に日ならずして快癒に向ふべしと（東京特電）

◉ヂストマと蟹 よく〳〵注意

平壤慈惠醫院の大河內醫官は此程平安南道成川郡に赴き地方病たる

▲肺ヂストマ に關する調査をなし八日歸任したが其の談に曰く舊正月の爲め一日に多數のヂストマ菌檢鏡は出來なんだがそれでも百五十人平均位は當つて見た其結果同地方人中ヂストマ菌に犯されてゐるものが十プロセント乃ち百人に十人はゐる無論

▲中には血痰 やヂストマの卵を吐くやうな重患者もゐたが其多數は患者其者も氣付かぬ程の輕症だ併し輕症と云つても結局漸次症狀が重くなるとか又は其の生命を縮めるとか要するに其の撲滅を圖らねば寒心に堪へぬけれど現在の所其の

▲積極的療養 は相當の規模と經費を要するから乍遺憾に著手も出來ない所で其の病源を調べて見ると大抵鮮人が好んで食ふ河蟹にあると試みに蟹を採つて檢鏡すると無數のヂストマ菌を發見する乃で余は茲にヂストマの消極的療法として地方官憲並に地方民に蟹の採取食用を禁ずるやう說示して來た云々（平壤）

◉朝鮮短歌會 今日パゴダ公園に

朝鮮短歌會は十一日午前十時よりパゴダ公園內カフエー、パゴダにて開催の筈にて投稿約三百首、之を當日午前中に互選し正午より一時迄の間に記念撮影、互選發表、午餐を爲し午後一時發表、引續き批評に入り午後四時閉會の豫定なるが出稿せざる人にても希望者は當日來會を歡迎する筈なり尙參會者は必ず鉛筆、萬年筆の類携帶せらるべし

◉カメラ倶樂部例會

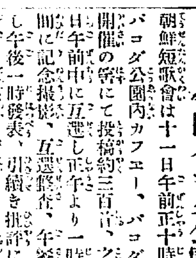
京城カメラ倶樂部第一回寫眞會例會は南大門通り三丁目上田寫眞機店樓上に於て二月八日午後六時を以て開催されたり同好の諸氏相會するもの十數名出品印畫數四十餘種席上寫眞撮影實驗談等有り相互大に利する所あり斯くして互選投票に移り採點を行ひたる結果第一等當選の月桂冠は橫井營水君の作になる『夕雲』に歸し次で第十等迄の當選印畫題名及び出品者氏名左の如し

第一等	夕雲	四十五點	橫井營水君
第二等	暮秋	四十四點	新谷淮君
第三等	晩秋	四十一點	久保南山君
第四等	暖かき日	三十九點	鮮赤成君
第五等	丸木橋	三十五點	丸山花外君
第六等	晩秋	三十三點	藤間芝洋君
第七等	春待	三十二點	末松以顏君
第八等	暮[illegible]	三十點	橫井營水君
第九等	靜物	二十六點	倉富隆君
第十等	失題	二十一點	小林芳之助君

◉工藤氏披露宴

土地調查局調理課長工藤壯平氏新婚披露宴は十日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催來賓には寺內總督石塚官長小宮次官宇佐美長官國分長官其他官民有力者百餘名列席食後席謡寄書等ありて午後十時目出度散會せり

◉妙心寺法話 妙心寺午後一時より花園婦人會の例會を開き後藤瑞巖師の法話あり



砲車の上にて 寒中行軍從軍記

（一）

苦しい代りに面白い行軍—しばらく兵隊となつて軍隊生活—大砲の音を聞いた事のない普通學校の生徒—長い砲身凄まじい音に驚いて吃驚仰天—塞くと消くに砲兵は馬の始末

寒中行軍、寒中行軍、すべて軍隊の行軍と言へば聞いただけで一般の人はつらいものだらうと考へる。しかし當の兵隊さんは二年兵から下士位になると、行軍は苦しい代りに面白い事もあると、平氣なものだ『苦あれば樂あり』といろは歌留多が最も簡單に

◉兵隊さんの言分

を說明してゐる、成程然うかも知れない、僕は茲に兵隊の所謂『苦しい代りに面白い』氣分を味はつてみたく暫らく兵隊になつた心もちで、六日から步兵砲兵聯合の寒中行軍があるのを幸ひ途中からフイと飛込んで行軍部隊の列に加はつて見た。行軍部隊が到著するので正月と盆が一緒に來た樣に騷いでる、內地人が七戶しかないといふ

◉水原から七里餘

龍仁郡の陽智といふ小さな村で待つてるところへ八日の十二時頃野砲兵の一隊二十四名が西脇大尉に引率されて砲車の響勇ましく到著すると村の者飛び上らんばかりに喜んだ、そして六頭づゝの馬の曳いた長い砲身の上向いてる大砲や逞ましい軍馬の行列を見ると今更の樣に驚異の眼を睜つてゾロ〳〵

◉隊の後を尾いて

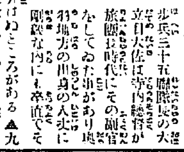
廻つた、中にも普通學校簡易農業學校の生徒は皆大砲の音といふものを聞いた事がないから、是非空砲でもいゝから打つてくれといふ、その校長からの切な賴みに、西脇中隊長も承知して、小高い山に砲を引上げ三發ばかりの空砲を打つと、山野に震ふ殷々の響に學校の生徒を始め皆がつて來た此の村の

◉張三李四の面々

暫らくはアイゴーとばかり開いた口が塞がらぬ程騷いだが說明を聞いてはじめて成程と感心したのには僕等も少からず驚いた。これが終ると一休みもせぬうちに索を張つて馬繋場を造り、藁を一面に敷いて馬を休ませ馬具の重いものを取外し糧秣を與へて置いてから

◉漸く自分の身體

に還ると宿舍に充てられた學校の敎場の中にコロリと橫になる。砲兵より遲れて二時半頃に著いた步兵は銃の掃除を眞先にした上宿營に關する事から出發の事迄いろ〳〵一々命令を聞いて宿舍に著くと飯盒炊爨と言つて自分々々夕食の支度にかゝる。行軍の妙味露營の樂しみは此の時に始まる（つゞく）



步兵三十九聯隊長の大立目大佐は寺內總督がその旅團長時代にその副官をなしてゐた因緣があり羽城方の出身の人丈に剛毅な內にも率直でそして柔和の人だが頗る介けぬところがある▲九日の朝水原に行はれた演習を觀に行つて馬にも乘らず吹曝しの寒天に立ち通してゐたがそれが九時過ぎに終ると城外の訓花園園亭で水原守備隊の御馳走があつた▲大佐が酔醺と[illegible]つてゐるところを寫眞屋がレンズを向けると口をしぐ〳〵させながら『さあ撮れ撮れ』▲それが濟むと十時半頃中村副官工藤少佐が隨いて城內に歸り工藤少佐が驛前の驛城旅館に入れようとしたが肯かない十二時三十九分に汽車が出るので二時間餘り間がありますからと勸めても『ナニ停車場で待つて居ればいゝ』とさつさと車を驛に着けて終つた▲で此の事を工藤少佐が先へ旅館に著いてゐた中島軍醫正に話すとそれでは私が迎へに行つて來ませうと出て行つて無理矢理に聯隊の小使[illegible]に陣取て三四人が話なしてゐる最中に湯を遁れて來たのは階下の汚ない六疊の座敷其狹い上の福砲かけでのつそり入つて來たのは工藤少佐▲ヤア先はと僕に恐縮するとナニ介はん〳〵俺も皆が窮屈だらうと思ふて初めに來なかつたのぢや▲工藤少佐も又柴敞に磊落な捌けた人で最初宿の者が中島軍醫正さん二人の室に十八疊敷の廣い部屋を取つて置くと▲之れは廣いこんなところは厭きだ、もつと狹いところの方がいゝよと自分で火鉢を抱へて探し廻り見つけ出したのが前記の部屋▲その部屋には聯隊長がゐるので女中が次ぎの室に持ち込んだ膳部を此處も廣いと自分で運び出して兵卒のゐる取散した四疊半敷の所に中島軍醫正外に一人と三人で納まつてゐるのを女中が見附けてアツと魂げた▲二年前に工藤少佐と言へば少佐が北京公使館にゐる時分今の革命將軍の蔡鍔も北京に居り將軍の物號を受け歐亞會議籌長の顯職まで與へられ豪傑に理物扱ひにされてゐたものだが少佐が士官學校時代の敎官であつた緣故を賴りに存りに出入して軍事戰術の敎へを請うたものださうだ

社告

本社龍山支局廢止の結果爾今同方面に對しては本社より直接に社員を派して編輯及び營業事務に當らせ候間此段同方面の愛讀者各位に謹告仕候

京城日報社

子宮病血の道とヒステリーに惱む人は 神疝湯

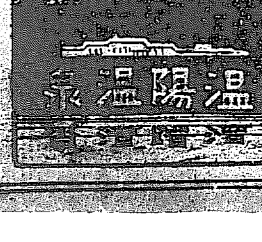
彼れ是と迷ふ事無く 難症を訣く程効く靈藥神疝湯は此に百方手を盡しも効なき血の道や、多年不治のヒステリーや、數年の難治の子宮病の方々が神疝湯の連服で漸次快癒し嬉さの餘り感謝の書狀（現在保存す）一般の閲覽に供すを送らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試みよ神疝湯は家傳の秘方藥なるも今や全國各藥店にあり

◉こんな徵候 胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等の痛み、又はしびれ、つり、筋張り痛む、◉彼此處と何となく移動し◉胸つかへ腹張り◉差込みなく食進まず又は過飲◉便秘又は下痢◉のぼせ、逆上、耳鳴り、頭痛、眼まひ◉寒氣、惡寒、肩こり、頭重く◉腰足冷え◉眠られず◉夜に恐れ、動悸◉氣が鬱ぎ、癇高く、ぶり〳〵◉物事に感じ易く◉手足の浮腫等◉子宮病血の道より起る徵候に惱む人は神疝湯を試みよ

定價 [illegible]

本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎 電話[illegible]

代理店 京城南大門通 新井藥房



登錄商標 瓢水味淋 堺高濱醸
京城本町二丁目 專賣店 前田酒店

M EP 名泉大當 [illegible] 大阪唐物町四丁目 [illegible]商店

新式 新案特別製品（金壹圓[illegible]） ね小便袋 衛生要具として最必用品 定價（小兒用一圓[illegible]）大人用貳圓 必ず男女小便用あれ
都の花 [illegible]
つや衣 [illegible]
送料各八錢代金引換廿五錢 發賣元 東京深川區富川町三番地 筑波商會
月經帶と云へば婦人

赤門印 人參規那鐵葡萄酒 貧血、衰弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料 發賣元 小西商店 到る處有力なる洋酒食料品店にあり

酒煙草きらいになる藥 禁酒丸 禁煙液 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券貳錢送れば說明書送る 大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈 本舖 大阪市順慶町南通二丁目 森田商店

てんかん 病で困る方 永年の難症にも奏効顯著なる專門良藥あり切手三錢送れ詳報す ◉名古屋市南小川町東側 救生館

千生瓢 (122)

須藤南翠作　筒井年峰畫

杜鵑一聲(一)

世の志津ケ嶽の戰勢を論ずる者、往々罪を佐久間盛政に歸し、彼が戰勝に驕つて、勝家の命を奉せざりしを責むるを常とす。是れ思はざるの甚だしきものである。若し關ケ原の一戰を以て、勝敗の決、金吾秀秋の離反にありとすれば、則ち志津ケ嶽の一戰も亦、前田利家の二心にあり一諾を秀吉に輸したものとすれば、別に論ずることはない。出陣に臨んで、利家が病の故を以て、請うて後陣を承はつた時、勝家は更に之を疑はなかつた。利家が先陣に臨んで、秀吉と旗鼓の間に見ゆることの、不可能であることを知るからである。但し最後の大事に臨んでは、必ず一矢を酬うて、平生の盟約を全うする者と信じて居た。こ

とせねばならぬ。秀吉は多智である。勝家は朴訥である。秀吉は前田の舊知であつた。因縁を持緩して事毎に彼に慰を通じ、專ら之を懷柔することを忘らなかつた。勝家は世に傳ふる如き、己が武勇を恃んで、人を待つに禮を知らず、民を治むるに仁を知らざる傲慢不遜の梟雄ではないが、武辯の常情として、多く智略を用うることを悦ばず、人を待つにも、只自己の信にのみ據つたのである。で、前田利家に對しても、付て智略を用うることなく、唯だ己が信ずる如く、彼も亦我を信ずる者と思ひ來たつたのである、抑〻これが勝家の

この勝家の武辯たる所である。秀吉の機智、夙に思ひをこれに致して、急行志津ケ嶽に到るや、直ちに密使を前田の陣に遣はし、

夜に紛れ是迄參り候。人數殘る所なく引付け候はゞ、篝火を多く焚かせ申すべく候。火多く見え候はば、明日の合戰と思召さるべく候。合戰となり候らはゞ、裏切頼みたてまつり度、奉存候へども、兼てより御心中存候通りなれば、しゐ〳〵裏切は爲さる間敷候。合戰に御かまひなき事、裏切同然に御座候間、其御心得なさるべく候

と交通したのであつた。

利家が此交通を得た時、何んな感想であつたか、其は今知ることは能きぬ。先づ豫期した事か、豫期の通りに來つたと考へたであらう。で、

年來の交りもあり、裏切致す事は甚だ迷惑なれば、御免蒙りたし。合戰あらば、双方へかまひ申す間敷候。

と答へて、密使を返したのである。勝家はこゝまで妥協が成立つたといふことを恐く知らなかつたであらうが、秀吉は利家を籠絡中の物として戰前に嚴正中立を約させたのであつた。是は秀吉には好意の中立であるが、勝家には全然裏切となつたのである。是時に於て、志津ケ嶽の勝敗は、既に決したのであつた。

併し勝家は淡泊なる武人氣質の大將である、利家が兵を收めて府中に入つた事も、其結果として、越中の佐々盛政が、倉皇國に歸つた事も、決して深く咎めなかつた。甲冑馬標を毛受勝助に與へ、我が姓名までを聽して、阿容〳〵北之庄に落つる途府中を過るや、利家は急ぎ城外に走り出て之を迎へた。時は二十一日の未刻である。勝家は十三里の山野を直走りに走つて、太く勞れて居た。請ぜらるゝまゝに書院にうち通つて始めて勞れを休めた。

又左衛門利家は、何がな敗戰の將を慰めばやとて、

『此程の弓矢の御作法、更に隙間もなく覺えておざる、玄蕃尉殿が中入見事に効を奏して、中川瀬兵衛を討ち取り、高山右近を走らされた働き武邊と申し、勳功と申し、名譽の事におざつた。彼折速かに引き入られればと、思召さるゝでおざらうが、彼の場合左樣にも參り申さなんだ事でおざらう。但し玄蕃允殿は、何となされた事にや、其後の消息は聞え申さぬか。若し亂軍中に戰死を遂げられたらば、一層殘り多い次第でおざる』と、老實で問ひ慰めるのであつた

二葉會第二回選句

京城帝史宗匠選・校者三十章　丙辰一月

題元日、山笑ふ、菫、二日灸、鳥交る。

おらが里渉また二寸山笑ふ　鶴燕
元旦や今日のみ顔な湯屋男　龍峯
熊坊も今日は泣けり二日灸　[illegible]
病悴きて友に強けり二日灸　秋石
元日や昨日の鬼も笑顔なる　鷺燕
尼寺と知るや知らずや鳥交る　豐山
源やかな吝とはなりぬ鳥さかる　同人
焼野地と化せし田畑を山笑ふ　鷺燕
東風そよ〳〵寒みもぬせて山笑ふ　[illegible]
尼寺に艾匂ふや二日灸　華堂
鬼薊と並び咲たるすみれかな　[illegible]
彼の君へ文にや添へん花すみれ　華堂
一莖のすみれ机上に微風あり　鷺燕
元日にかさりて見たき甲かな　華堂
南山のほこりの一やしろすみれ　豊山
花菫無慘や馬にふまれけり　龍峯
元日や山巌として海靜か　秋石
林政のめぐみとごきて山笑ふ　華堂
輪にしても女心のすみれかな　午民
始政五年績見えて山笑ふ　豐山
徒に誰か取捨しすみれ哉　[illegible]
疲馬に荷の過ぎたるや山笑ふ　龍峰

秀逸

禁慾の眼に宿るまや二日灸　豊山
鳥さかる下に苦顔や鬼瓦　[illegible]
元日の崇高や富嶽旭に映えて　秋石
元日や我大御代の歌よまむ　鶴燕
二日灸是も命の楔かな　[illegible]

三光

天　交る鳥に雨もふらす細衣の人　秋石
地　鬼薊毛の蹄にかけし菫哉　鷺燕
人　元日や床にも仰ぐ不二の山　[illegible]

加

大いなる元日の人心かな　無二庵帝史

商況

大阪株式特電

[illegible]

▲依然動かず

[illegible]

十日の四月限
後止寄付 十一圓〆六錢 十一圓〆七錢 [illegible]

滿蒙處分論　露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯　定價金一圓　郵稅本社負擔　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇

◎新荷着アンクル式片側懷中時計
機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
[illegible]
右は今回新着の商品にて本商會獨り之を店に無き所のもの伏して御ぼくげ急速御出命有し地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目電話九七二番

優等清酒
一鶴
京城本町四丁目電話六五四番
本莊酒店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽行
淡路丸 二月十八日 正午出帆
相模丸 三月三日 正午出帆
高砂丸 二月十二日 正午出帆
仁川梅岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外國航路、鎭南浦線を除く)門司遮斷の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
溫州丸 二月十八日 午後五時
吉辰丸 二月廿一日 午後出帆
平壤丸 二月十二日 午後出帆
×木浦、釜山、長崎行▲は鹿兒島、神戸に寄港
天佑丸 二月廿四日 午後二時
城津丸 二月十七日 出帆
×○大連行
天佑丸 二月十一日 正午出帆
城津丸 二月十三日
◎木浦、關門、神戸、大阪行
溫州丸 二月　日 後五時出
○群山、釜山、横濱行
潮州丸 二月廿八日 午後四時
湾州丸 二月十六日 出帆
○大連直行
湾州丸 二月十三日 正午出帆
チヨイサン丸 二月廿六日
△×清津、浦潮行(元山出帆)
△天智丸 二月十六日 午後二時
▲長北丸 二月廿八日 出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
北丸 二月廿五日 午前十時
商丸 二月十七日 出帆
新潮
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘込可被下候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二一〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
中國四國沿岸各港行船客に對し宮分の間門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
玄神丸 二月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 二月十七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 二月十五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸 二月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 二月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天興丸 毎月三日九日十五日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山驛埠立船町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
臨時急行聯絡船 之架、大連行
第共同丸 二月十三日 午後二時入 二月十五日 前九時出
朝鮮航路 大連にて青島行定期船に接續 旅客直通 荷物聯絡運輸取扱仕候
第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月 日 後九時 出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 月 日 前八時 出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 二月　日後四時出帆
大有丸 二月十二日後四時出帆
神代丸 二月十八日後四時出帆
蛟龍丸 二月十三日後四時出帆
君が代丸 月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船
金羅丸 二月十二日
京畿丸 二月廿二日
黃海丸 二月十六日
咸鏡丸 二月廿六日 釜山發
仁川より各港寄港釜山へこと
穩城丸 二月十三日
昌平丸 二月十一日
鏡城丸 二月十七日 元山發
元山より各港經由雄基行
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久味、五里浦行 又は長崎延長
盈德丸 二月十四日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚陵島行
江陵丸 義陽丸 毎月 (釜山 浦項)發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 二月八日 釜山發 長承浦、浦水、江文、浦、各港
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶興丸 何日 釜山發 各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目每 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
慶興丸 二月十二日 木浦發 各港經由濟州島行(西廻)
公州丸 二月十一日 木浦發
公州丸 二月十五日 木浦發 各港經由濟州島行(東廻)
全州丸 二月十九日 仁川發 海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行
江原丸 二月十五日 仁川發 芝罘、大連、青島行
晉州丸 二月十二日 仁川發 各港經由木浦行
鹿水丸 二月十二日 仁川發
錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、桐藥島、海州行
平安丸 二月十三日 群山發 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行
取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 (電話二一七〇)